

周南市立図書館システム更新業務仕様書

令和6年5月

周南市

目次

1	件名	2
2	目的	2
3	業務内容	2
	(1) システム構築	2
	(2) 図書館ホームページ作成	2
	(3) 移動図書館と図書館システムとの Wi-Fi 接続環境構築業務	2
	(4) 貸貸借等	2
	(5) 保守	2
4	業務期間	2
	(1) システム導入、運用環境構築・準備、研修・サポート等	2
	(2) システム及び機器の貸貸借	2
	(3) システム及び機器の保守・運用サポート	2
5	履行場所	2
6	対象データについて	3
	(1) 基礎数値	3
	(2) 使用 MARC について	3
	(3) 新システムへのデータ移行	3
	(4) 移行作業の実施について	3
	(5) データ継承の担保	4
7	システム、システム機器及びソフトウェアの構成、ネットワーク要件について	4
	(1) システム要件	4
	(2) 機器構成	5
	(3) ソフトウェア	5
	(4) ネットワーク要件	5
8	セキュリティ要件について	5
	(1) セキュリティ管理の基本的な考え方	5
	(2) 求められるセキュリティ対策	5
9	システム構築・導入支援について	6
	(1) 構築 SE 体制	6
	(2) 操作研修	6
	(3) 本稼働支援	6
10	システム運用・保守について	6
	(1) システム運用支援	6
	(2) ハードウェア・システムサポート保守内容について	7
	(3) ハードウェア保守サービスレベル	7
11	図書館ホームページ作成	7
	(1) 基本事項	7
	(2) ホームページの作成及び運用	7
12	検査・支払い	8
13	契約期間満了後の取扱いについて	8
14	その他特記事項	8
	(1) 留意事項について	8
	(2) 現行業者について	8

1 件名

周南市立図書館システム更新業務

2 目的

令和7年1月31日に賃貸借の契約期間が満了となる周南市立図書館システム（以下「システム」という。）を新たに構築し、安定的かつ効率化な図書館運営を行うことを目的としている。

また、今回の更新業務において、専用サーバーを現行の中央図書館配置から、周南市役所配置とする事で、セキュリティ等対策の強化を図るものである。

※当該仕様書は基本仕様書であり、選定された候補者の企画提案内容に応じて変更することがある。

3 業務内容

(1) システム構築

システム構築に係るカスタマイズを含めた設計、開発、テスト、データ移行及びこれに付随する各種関連業務

(2) 図書館ホームページ作成

既存の図書館ホームページリニューアルに必要なソフトウェア及びホームページの作成業務

(3) 移動図書館と図書館システムとのWi-Fi接続環境構築業務

移動図書館に使用するノート端末をWi-Fi接続経路で図書館システムサーバーへアクセスさせるための環境構築業務

※接続に要するモバイルWi-Fi（ルーター）及び回線の契約費用並びに回線工事費用は周南市が別途負担する。

(4) 賃貸借等

更新後のシステムに係るソフトウェア及びハードウェアの賃貸借

(5) 保守

更新後のシステムに係るソフトウェア及びハードウェアの保守

4 業務期間

(1) システム導入、運用環境構築・準備、研修・サポート等

契約締結日から令和7年1月31日まで

(2) システム及び機器の賃貸借

令和7年2月1日から令和12年1月31日までの5年間(60ヶ月)の長期継続契約

(3) システム及び機器の保守・運用サポート

令和7年2月1日から令和12年1月31日までの5年間(60ヶ月)の長期継続契約

5 履行場所

周南市立図書館（6館）及び周南市岐山通1丁目1番地（周南市役所）

< 履行場所詳細 >

施設名称	住所
周南市立中央図書館 ※移動図書館車を含む	周南市岐山通 2 丁目 7 番地
周南市立新南陽図書館	周南市中央町 4 番 1 0 号
周南市立福川図書館	周南市福川南町 2 番 1 号
周南市立熊毛図書館	周南市熊毛中央町 1 番 1 号
周南市立鹿野図書館	周南市大字鹿野下 1 2 7 6 番地の 1
周南市立德山駅前図書館	周南市御幸通 2 丁目 2 8 番 2
周南市役所	周南市岐山通 1 丁目 1 番地

6 対象データについて

(1) 基礎数値

下表記載の数値を踏まえ、快適且つ安定的な処理能力を有し、システム使用期間中に十分耐えうる性能によりシステム構築すること。

< 各年度末実績 >

年度	資料総数	貸出資料総数	予約・リクエスト資料数
R4	743, 291 点	889, 139 点	135, 946 点
R3	734, 792 点	828, 450 点	145, 331 点
R2	726, 657 点	860, 283 点	129, 746 点
R1	716, 647 点	962, 699 点	122, 237 点
H30	709, 251 点	1, 048, 469 点	126, 184 点

(2) 使用 MARC について

TRC-MARC を採用している。ローカルマークデータの取り込みも対応ができること。

(3) 新システムへのデータ移行

対象となる主なデータは以下の通りである。

- ・ 書誌情報
- ・ 所蔵情報
- ・ 利用者情報
- ・ その他データ (貸出、予約、発注データなどの動態情報)
- ・ 貸出予約履歴ログ情報
- ・ 各種の設定情報

(4) 移行作業の実施について

- ① 現行システムからのデータ抽出は、現行業者が実施するものとする。受託者は、提供されたデータ形式により移行を行うこと。
- ② データ抽出に係る費用は、受託者が負担することとし、本調達の見積金額に含めること。
- ③ 移行作業において現行業者の支援が必要な場合で、費用が発生する場合は、受託

者が負担することとし、本調達の見積金額に含めること。

④データの受渡方法について、費用が発生する場合は、本調達の見積金額に含めること。

(5) データ継承の担保

①図書館年報等の作成に関しては、年度途中のシステム切り替えである点を考慮し、当年度分の統計データが年度末に滞りなく出力できるようにすること。

②データ移行が正常に行われているかどうか、受託者が全データを確認し、周南市に報告すること。

③瑕疵担保期間は稼働後1年間とする。

④データ移行に不備が発見された場合、受託者が責任を持って再移行を行うこと。

⑤データ移行について周南市から問い合わせがある場合、速やかに対応すること。

7 システム、システム機器及びソフトウェアの構成、ネットワーク要件について

(1) システム要件

システムの仕様・性能要件は、現在使用中の図書館システムと同等またはそれ以上のものとする。現在使用中の図書館システム及び新規図書館システムの想定構成図並びにシステム機能要件を「別紙1」に示す。また、下記に示す「⑱読書履歴記録型サービス」は、本業務とは別に導入予定のため、拡張可能機能としておくこと。その際、別途必要となる費用及び諸条件並びに対応方法等については、詳細を記入し提出すること。(様式任意)

・システムの仕様・性能要件(詳細は別紙1参照)

①窓口業務(貸出・返却等)

②利用者管理

③資料検索

④資料予約管理

⑤督促

⑥図書・雑誌管理

⑦所蔵管理

⑧蔵書点検

⑨移動図書館

⑩発注・受入

⑪相互貸借

⑫レファレンス管理

⑬オフライン処理

⑭帳票印刷

⑮ICタグシステム(徳山駅前図書館のみ)

⑯民間事業者発行の独自カード機能連携(徳山駅前図書館指定管理業務関連)

⑰オンライン蔵書目録(OPAC) ※館内利用

⑱読書履歴記録型サービス(拡張可能機能)

(2) 機器構成

機器構成及び台数、機器仕様は、「別紙2」と同等又はそれ以上の要件を満たすこと。

(3) ソフトウェア

ソフトウェア構成及び数量は、「別紙1」と同等又はそれ以上の要件を満たすこととし、他に必要とされるソフトウェア類がある場合、本調達の見積金額に含めること。

(4) ネットワーク要件

- ①設置機器のネットワーク設定は、ユーザーサイドのレスポンス、セキュリティ対策等、十分な知識と経験を有した者が設定すること。
- ②館外との接続のための、1 G b p s 相当の光回線に要する回線使用料・プロバイダー契約料は周南市負担とする。上記以外のネットワーク回線等が必要な場合は事業者の負担で準備すること。回線は周南市側で光回線とし、契約方法及びプロバイダーを提案し、見積金額を提示すること。
- ③メールアドレスは、プロバイダーサービスに含むものとし、現行のものを使用する。
- ④各機器は現行と同じ場所に設置するが、軽微な場所変更があった場合は、必要に応じて配線作業を行い、別途必要とするケーブル類は適宜受託者にて用意すること。
- ⑤ケーブルや電源等は、整線すること。
- ⑥既存設備等の確認が必要な場合は、周南市職員立会いの下、現場下見を行うことができるが、希望日の5日以上前に担当職員に候補日時を複数提示すること。

8 セキュリティ要件について

(1) セキュリティ管理の基本的な考え方

本システムは個人情報を取り扱うことになり、より高いレベルのセキュリティ対策が必要である為、周南市個人情報の保護に関する法律施行条例、周南市情報セキュリティポリシーを遵守し、システムを構築すること。

(2) 求められるセキュリティ対策

図書システムには利用者の個人情報が格納されるため、事業者には以下の各要件を求める。

- ①データ通信のセキュリティ（暗号化）は TLS1.2 以上、若しくは VPN を利用して暗号化すること。
- ②業務端末からシステムを利用する際はパスワード認証、又は生体認証を必要とすること。
- ③システムの個人情報領域へのアクセスについてはログ履歴を蓄積し、万が一のトラブル発生時に周南市職員自らが検索・出力を行い追跡できる仕組みを用意すること。
- ④Web 公開サーバーには情報漏洩や改ざんを防ぐために個人情報を保管しないこと。
- ⑤J-LIS などによる脆弱性診断によって、改善事項が指摘された際には迅速に対策を講じること。

- ⑥各種機関から公表される脆弱性情報に注意し、随時対策することで安全性を維持すること。

9 システム構築・導入支援について

(1) 構築 SE 体制

プロジェクト体制は以下の条件を全て満たす SE を含めて整えること。

- ・図書館システムの導入・構築経験を複数持った者であること。
- ・図書館システムのデータ移行経験を複数持った者であること。
- ・随時の協議や緊急時に迅速に図書館に訪問できること。
- ・システム更新に伴う運用変更等に対し、近隣状況なども踏まえた適切な助言ができること。

(2) 操作研修

- ①システム導入時には、職員が自由に操作練習できる環境を用意し、操作を問題なく習得できるよう、十分な操作研修・支援を実施すること。
- ②想定する操作研修は下記の通りとし、手法については提案書に記載すること。
 - ◇プレ研修：契約後、実データを含めたりハーサル環境を用意すること。
 - ◇本番研修：更新休館期間内で本番環境を使用し実施すること。

(3) 本稼働支援

- ①内部稼働、開館の支援として、導入作業担当者、図書館システムに精通した技術者（SE）が立ち会うこと。
- ②立会日については別途協議とするが、支援スケジュールについては提案書で提示すること。
- ③現行機器撤去について
新システムの導入により館内に設置された現行機器、データ消去については受託者・周南市にて対応する。受託者は周南市の指定した場所への現行機器の撤去・移動までを実施すること。

10 システム運用・保守について

(1) システム運用支援

- ①運用、変更の際しての図書館からの相談、質問に全面的に支援できる体制であること。
- ②図書館システム運用に必要なマニュアルを整えること。
- ③平日のみならず、土日祝日・夜間なども含め連絡ルートを確立すること。
- ④トラブル時の対応については、図書館と協議し早期復旧に努めること。
- ⑤蔵書点検時やデータ出力等で図書館が支援を求めるときは、誠意をもって対応すること。
- ⑦電話、メールによる QA 対応、図書館の運用条件変更に伴う区分コード追加作業は、相談も含め現地、またはリモートにて対応すること。
- ⑧緊急時の連絡窓口は、ソフト・ハード含めて一本化した体制とすること。

(2) ハードウェア・システムサポート保守内容について

- ①障害時の連絡対応、問診
- ②障害原因の切り分け作業
- ③不良部位修理を行い、必要に応じてソフトウェア(本件調達分)の回復を実施すること。
- ④機器障害発生時には技術者が訪問し、必要に応じた部品交換を実施すること。
- ⑤図書館システムのパッチ提供、リビジョンアップの権利提供などのマイナーバージョンアップは随時行うものとし、技術提供サービス等、契約期間の保守サービスを実施すること。
- ⑥導入したソフトウェアの脆弱性が発覚した場合は、即時対応すること。
- ⑦障害発生時には、受託者が一括対応し、滞りなく連絡・作業指示を行える体制を取る。
- ⑧保守対応の受付は原則として開館時間とする。
- ⑨訪問修理の作業実施に際しては職員と協議し、対応すること。
- ⑩システム障害発生時は、土日を含め技術者が現地訪問し、復旧対応(修繕・立会)を行うものとし、対応内容に関して速やかに報告できる体制であること。
- ⑪障害対応報告は適宜実施し、定例会の場において全体を取りまとめて報告すること。
- ⑫業務の新たな運用が必要な場合は、保守の範囲外として都度協議し、対応するものとする。

(3) ハードウェア保守サービスレベル

各種機器の保守対応時間は、周南市立徳山駅前図書館では8時00分から22時00分まで、その他の周南市立図書館では9時00分から18時30分までとする。
また、機器保守費用は、条件に沿った見積りを行うこと。

11 図書館ホームページ作成

(1) 基本事項

- ①現行図書館のホームページは、スマートフォンやタブレット端末専用ページに対応していない状況である。本業務においては、現行Webサイトと同等の構成を引き継ぐものとし、スマートフォンやタブレット端末に対応するサイトとして整備すること。
- ②コンテンツにアクセスカウンタを設置し、情報収集ができること。
- ③Webサイトの更新作業について、操作手順を記載したマニュアルを作成すること。
- ④外部インターネットからのアクセスログを取得できるようにすること。

(2) ホームページの作成及び運用

- ①新システムの本番稼働までに、本仕様に基づき受託者が基本的なホームページの構成を作成すること。新しいホームページの運用開始後のコンテンツ更新、データ入力等の作業は、図書館職員が行うものとする。
- ②ホームページの作成・編集はCMS等のシステムまたはソフトウェアを使用するも

のとし、HTML の専門知識を持たない職員でも容易に情報更新やコンテンツの公開・未公開等の設定ができること。

③受託者が作成する図書館ホームページのトップページから本システムの蔵書検索 Web-OPAC への移動については、利用者が判断しやすい画面構成とすること。

④その他詳細な要件については、別途協議の上決定すること。

12 検査・支払い

受託者は、毎月のシステム機器等の賃貸借及び保守業務が終了した後、周南市契約事務規則（平成 15 年 4 月 21 日規則第 51 号）の規定に基づく所要の報告及び本市による検査に合格した後、本市に対して支払請求書を発行する。本市は受託者からの適法な支払請求書を受理したときは、その日から 30 日以内に賃貸借料及び保守委託料を支払うものとする。

13 契約期間満了後の取扱いについて

本契約の期間満了後、受託者と周南市が再度契約を締結する場合は、更新費用及び再構築費用等の経費は支払わないこととする。※端末系の機器更新は除く。

14 その他特記事項

(1) 留意事項について

①導入物品の梱包材については、納入業者が納入後速やかに引き取ること。

②設置や調整作業等については協議すること。

③本仕様書については適切に管理し、これにより知り得た情報については、第三者に開示してはならない。

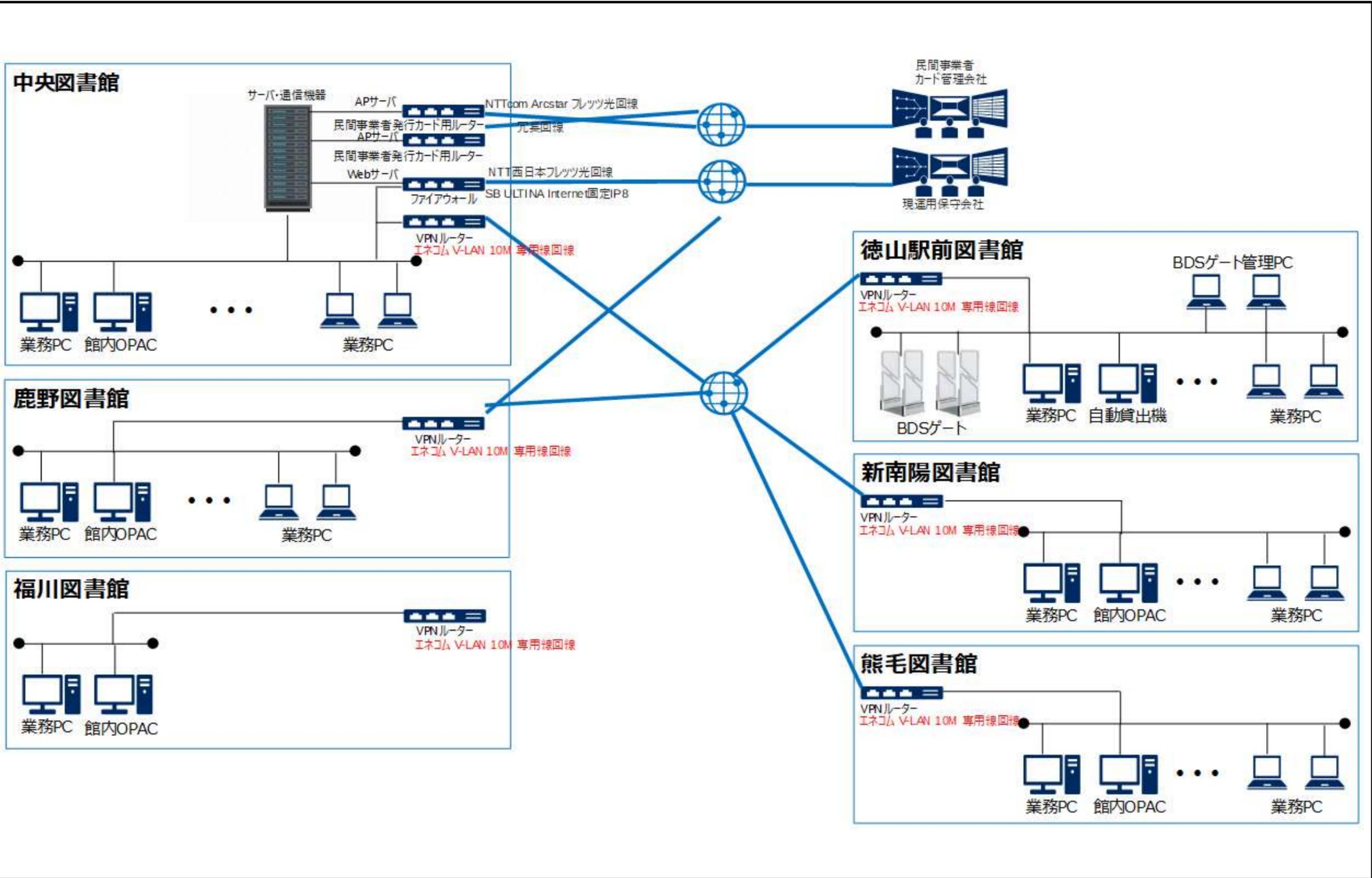
④機器リース終了後には、データ消去及び機器引取りを行うこととし、データ消去時後には、消去済みである旨の証明書を周南市へ提出すること。また、今回納入する機器のデータ消去費及び機器撤去費用は、本見積りに含めること。

⑤本業務における契約は、周南市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例（平成 17 年 3 月 29 日条例第 10 号）第 2 条第 1 号に基づく長期継続契約であるため、この契約を締結した年度の翌年度以降の業務期間において、各年度における長期継続契約の予算の範囲内で契約を継続するものである。

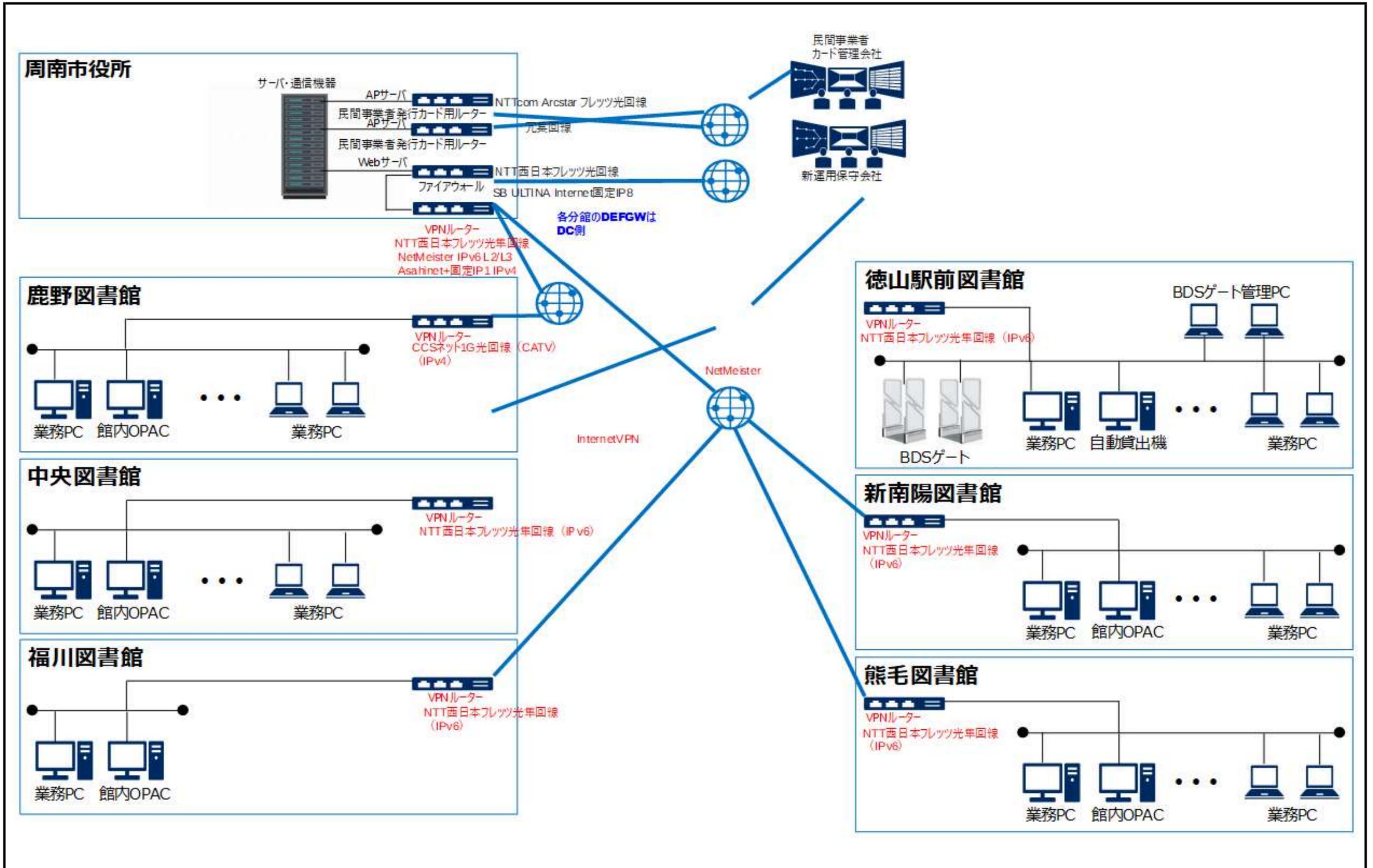
(2) 現行業者について

業者名：株式会社広島情報シンフォニー

1. 現行図書館システム ネットワーク図



2. 新図書館システム ネットワーク図



3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入
個別システム	電子ファイリング	電子ファイリング	1	図書館システム以外に新聞ファイリングシステムとして「電子ファイリングシステム」が稼働している 当システムの全データを移行すること 製品名 文書管理システム「QuickBinder (クイックバインダー)」	○		
			2	QuickBinder (クイックバインダー) データ抽出については下記パッケージ開発元と協議の上、データ移行し提案パッケージにて同一機能を実現すること データ移行費用も見積りに含めること 連絡先 株式会社クレスト クラウド事業本部 ITサービス部 QBグループTEL:03(5783)3544	○		
			3	要求機能については【4. 電子ファイリングシステム機能要件】参照のこと	○		
ネットワーク	移動図書館	移動図書館	1	移動図書館の業務処理は 現在のオフライン処理 (ローカル) からモバイルWi-Fiを利用したオンライン処理へ移行する 通信セキュリティを確保したうえで、図書館システムに直接アクセスできる環境を準備する必要がある 移動図書館で利用するモバイル回線に必要なWi-Fiフィルター、モバイル契約初期費用、通信費用は周南市負担とする が、業務クライアントPC、図書館システムライセンスおよびセキュリティにサーバーへアクセスするためのVPN構築費用、サーバーとの接続テストは見積りに含めること	○		
図書館システム	全体	データ移行	1	既存の図書館システムは貸出データ、利用者データ、統計データ含み全データを移行すること データ抽出については下記パッケージ開発元と協議の上、データ移行し提案パッケージに下記提示の機能を実現すること データ移行費用も見積りに含めること 連絡先 広島情報シンフォニー サービス営業部 TEL:082(222)8218	○		
			2	システム構築については、徳山駅前館が365日稼働のため、徳山駅前館は閉館せずシステム停止2日間でシステム更新を完了させること 徳山駅前館の夜間作業は図書館と協議の上、作業時間を決定することとする 徳山駅前館と中央館以外は定例休館日1日を利用して作業を完了させること 中央館は2日間の休館で構築すること	○		
			3	徳山駅前館WebOPAC及び図書館に設置する館内OPACについては、徳山駅前図書館指定管理者が独自に運用している Webサイトと連携できるように図書館システムをカスタマイズ構築すること 同Webサイトが連携するための構築に係る費用も見積りに含めること	○		
			4	各館のカウンター、事務室及び徳山駅前館のセルフ貸出機で、市が発行した図書館カードに加え、民間事業者が発行した独自のカードを用いて貸出処理ができること カード連携については、民間事業者発行カード管理システムと図書館システムと連携できるようにカスタマイズすること ※このカード連携機能は、徳山駅前図書館の指定管理業務における提案事業として採用したものであり、今後も継続して利用する	○		
			5	民間事業者が発行した独自のカードによる利用者認証を行うため、同事業者が提供するカードシステムと図書館システムは、NTTコミュニケーションズ株式会社のArcstar IP-VPN 2回線 (冗長回線) で接続している 同回線を利用してカードシステムのホストサーバーとデータ交換連携ができる仕組みを導入すること 併せて、民間事業者がArcstar回線を移設するための費用及びその他連携に必要な経費は見積りに含めること	○		
			6	徳山駅前館に設置、運用している入退館ゲート11台 (内田洋行製) で人数カウントが日々集計されるプログラムを利用している 各ゲートの集計は 8時~22時までの開館時間とし、集計は1時間単位で人数カウントデータを取得する仕組み、プログラムを作成すること 図書館システムに取り込み、画面表示、帳票印刷等連携できるようにカスタマイズし、保存している入退館ゲート11台の過去の記録も参照できるようにすること 各入退館ゲートについては、365日運用監視する仕組みを取り入れること	○		
図書館システム	ホームページ	ホームページ	1	徳山駅前館以外のホームページデザインは利用者の利便性が上がるように新たなデザインとすること	○		
			2	徳山駅前館以外のホームページデザインは職員の保守性が上がるようにCMS型コンテンツツールを使用したページに再構築すること	○		
			3	徳山駅前館以外の公開しているホームページコンテンツはもれなく移行すること 徳山駅前館で公開している独自のホームページコンテンツは作成対象外とするが、図書館システム側とシステム連動しているため、提案する図書館システムと連携するインターフェースをWebOPAC側にカスタマイズすること。 また徳山駅前館の館内OPAC (タブレット: iPad) も連携に含めること。 現行のホームページデザインについては下記現行システム導入会社にデータ抽出見積もりを依頼して、データ移行すること。 なおデータ移行費用も見積りに含めること 連絡先 広島情報シンフォニー サービス営業部	○		
全般	画面		1	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること	○		
			2	データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること	○		
			3	全画面において、入力コントロールがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること	○		
			4	使用する画面のフォントは任意に設定できること	○		
			5	全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること	○		
	入力		6	処理選択・コード値選択がマウスおよびファンクションキーで操作できること	○		
			7	TABキー、Enterキー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動すること	○		
			8	ボタンが大きく、ディスプレイをタッチパネル式であれば指でタッチすることによって無理なく操作できること	○		
			9	バーコードリーダーによる読み込み時、必ず端末からも確認音が出ること (端末で読み込めていない際はエラー音を出せること)	○		
			10	貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること	○		
			11	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること	○		
	画面展開		12	貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと	○		
			13	ワンタッチで起動する別画面は、任意に設定できること (4つ以上)	○		
			14	画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること	○		
			15	画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例) ①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること	○		
業務メニュー		16	業務メニューの構成は、館および端末毎に変更できること	○			
		17	職員IDを設定することにより、職員ID毎に業務メニューを設定できること	○			
		18	ログイン情報画面での端末IDの変更可否を制御できること	○			
		19	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと	○			
		20	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども各業務毎に設定可能なこと	○			
		21	メニュー画面に長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌/予約割当保留/自動メール送信/特集自動更新が何件あるのかを表示できること また対象資料を一覧で表示できること	○			
統計処理		22	メニュー画面の長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌/予約割当保留/特集自動更新の対象資料一覧表示から、資料詳細画面を表示できること	○			
		23	メニュー画面の長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当保留の対象資料一覧表示から、利用者詳細画面を表示できること	○			
		24	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバーのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと	○			
レシートプリンタ		25	各種統計結果は、CSV形式での出力が可能なこと	○			
		26	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	○			
		27	図書館要覧に記載している統計情報 (分類別蔵書冊数 (類目別、一般書/児童書別)、利用状況 (一般/児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数)、年度の資料貸出点数 (一般書/児童書別、月別)) を出力できること	○			
		28	利用 (貸出・返却・予約) 統計表は、日報 (時間帯別)・月報 (日別)・年報 (月別) に出力できること	○			
移動図書館		29	貸出期限票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること	○			
		30	レシートの出力項目等を端末毎に設定できること	○			
		31	移動図書館用端末はモバイルWi-Fi接続によりリアルタイムに図書館システムサーバーと通信可能とすること	○			
帳票			32	移動図書館端末は通信状況が悪いサービスポイントにおいて図書館システムサーバーと通信できなくなった時、ローカルで処理できること	○		
			33	帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせて背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと	○		

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入		
カウンター業務	カウンター業務全般	処理機能	34	本図書館の仕様に合わせて資料番号バーコードをラベル形式で印刷できること	○				
			35	本図書館の仕様に合わせて利用者バーコードをラベル形式で印刷できること	○				
			36	ラベルプリンタと連携し、利用者番号、利用者番号バーコードをシールラベルに印刷できること	○				
		利用者カード	37	必要な帳票内容は、CSV出力に対応できること	○				
			38	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと	○				
			39	スマートフォン画面に利用者カードのバーコードの表示が可能なこと	○				
			40	民間事業者が発行した独自のカードを利用者カードとして登録、利用可能なインターフェイスを持っていること (オプション可能) 同カード本人確認方法は別途記載するので確認の上実現すること。	○				
		操作ログ	41	処理の起動、検索・データ抽出の実行、プリント抽出の実行、テキスト出力の実行、データ更新の実行、パラメータの更新、システムコードの更新をログとして保存すること	○				
			42	保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面または帳票に出力することができること 抽出条件: 処理日範囲、ログインID、処理区分、処理端末番号、プログラムID、更新利用者番号範囲	○				
		貸出業務	システム連携	43	徳山駅前館でICタグ及びIC機器を使った運用ができること	○			
				画面表示	1	貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと	○		
			2		主要業務 (貸出、返却、資料検索、利用者検索) については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること	○			
			3		以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1 明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧 (1 利用者に対する予約タイトルの一覧) ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧	○			
	コメント		4		利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること	○			
			5		情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名/資料名が確認できること	○			
			6		資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること (付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること)	○			
			7		資料情報および利用者情報に付加するコメント (定型文、自由文) の数に制限がないこと	○			
			8		コメントの注意書きは、貸出時のみ・返却時のみのようにコントロールできること	○			
			9		資料の定型コメントに重要度 (大・中・通常) を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること	○			
			10		利用者の定型コメントに重要度 (大・中・通常) を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること	○			
			11		資料情報および利用者情報に付加されたコメント毎に登録日と登録館が確認できること	○			
			貸出手順		1	利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること	○		
				貸出処理	2	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること	○		
	3	同一画面で館内貸出が行えること。館内貸出はワンタッチで行えること			○				
	4	資料番号を読み込んだ時点で貸出確定し、DBを更新すること			○				
	5	当日中に貸出処理をした資料の貸出取消ができること また、統計データは貸出がされなかったとみなして差し引かれること			○				
	6	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないを状況に応じた職員判断により処理を行える設定もできること			○				
	7	不明資料を貸出処理すると、自動的に不明状態を解除し状態区分を貸出中に変更できること			○				
	8	資料種別 (図書・雑誌・AV資料等) 毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延期回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること			○				
	9	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態 (強制不明) への変更を同時にできること			○				
	10	予約していた資料を予約していた利用者へ貸し出すと、予約データが消去されること また、予約していた利用者以外に貸し出したとき、予約データは維持されること			○				
	11	貸出処理時に表示される明細は自館又は自館グループに表示を限定することができること			○				
	12	利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」「自館グループ」を切り替えて表示できること尚、初期値については、設定で変更できること	○						
	13	利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと	○						
	14	移動図書館等での使用のため、ログイン切替等を行わず、貸出画面において容易に貸出館・サービスポイントを指定変更して貸出を行えること	○						
	15	利用者の貸出上限チェック時に、「紛失申請済」「弁償手続き中」等の貸出資料を、貸出冊数としてカウントしないこと	○						
	16	弁償手続き中の資料に関しては貸出点数に含めないようにして、貸出を許可することが可能なこと	○						
	17	利用者区分・資料種別・受入区分・受入期間の組み合わせに対して貸出可能か否かのチェックを行えること	○						
	18	相互貸借利用者に対して新着資料を貸出した際に貸出可能かのチェックが行えること	○						
	19	長期延滞資料 (貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する) のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の貸出を制限できること また、職員判断により貸出もできること	○						
	図書館カレンダー	20	図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと	○					
		21	図書館カレンダーは館毎に設定できること	○					
		22	カレンダーに設定する休館日は、貸出日数に含める休館日と含めない休館日が設定できること	○					
	貸出期間設定	23	各館毎に貸出期間を設定できること	○					
		24	貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること	○					
		25	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること (ただし、予約資料・相互貸借資料時は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること)	○					
		26	貸出中資料の延長を禁止する貸出日からの日数、延長を許可する返却期限日からの前後日数を任意に設定し、チェック対象となった場合は延期の可否を判断できること	○					
27		貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の2種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること (資料区分毎に変更可能なこと)	○						
28		貸出資料に予約が存在する場合に貸出期間を自動的に変更できること	○						
29		長期延滞資料 (貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する) のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の貸出期間延長・継続を制限できること また、職員判断により貸出期間延長・継続もできること	○						
画面展開	30	貸出基本画面より貸出期間変更、利用者仮登録、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること	○						
	31	バーコードの読み込みにより、貸出画面/返却画面切替および貸出・返却処理画面の起動が可能なこと	○						
	32	利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること	○						
	33	貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報 (書誌詳細、ローカル情報一覧) が表示できること	○						
紛失登録管理	34	貸出画面上で貸出中一覧を確認し、画面遷移することなく延滞通知を行うことができること	○						
	35	貸出一覧から継続貸出、強制返却、貸出取消、期限変更、紛失登録等の処理が可能なこと	○						
	36	紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること	○						
	37	紛失登録した資料に対する督促対象から除くことができること	○						
	38	紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目は、発行日、発行館、タイトル名、人名、出版者、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷し、利用者に渡すことができるように、切り取り線も併せて印刷できること	○						
	39	紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと	○						
表示情報のクリア	40	貸出詳細画面から、紛失資料の弁償受領書を印刷できること	○						
	41	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること	○						
	42	個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること (処理をしない一定の時間 (設定可能) が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること)	○						
仮登録利用者への貸出	43	利用者の仮登録機能を有すること (その際、統計に必要な項目である性別・生年月日・地区コード・利用者区分は入力すること)	○						
	44	利用者登録画面で仮登録から本登録に更新した時に、仮登録の時に作成した統計データの利用者情報を本登録の利用者情報で更新すること	○						
家族連携登録	45	家族連携処理された利用者の場合、複数の利用者カードを連続して読み込み、人数に準じて貸出資料を連続して読み込むことができること (UICカード使用時は除く)	○						
	46	家族連携登録した利用者の家族の未返却資料一覧がワンタッチで表示できること	○						
	47	家族連携処理された利用者間の情報は相互に参照できること	○						

3. システム機能要件 (基本)

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
返却業務	画面構成・表示	画面構成・表示	48	家族連携処理をする利用者は登録時に確認作業を必要とすること	○					
			49	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面を展開できると(利用者番号読み込み時の割当ても設定できること)	○					
			50	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限および既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料(他予約あり)数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること	○					
			51	既貸出資料(全資料・延滞資料・長期延滞資料・督促資料)の表示/非表示および色設定(文字色、背景色)の設定が可能なこと	○					
			52	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、また表示する項目(資料番号、資料名、貸出期限等)についても、項目や表示幅等が変更できること	○					
			53	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別(文字色・背景色)による表示が可能なこと	○					
			54	個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示/非表示を端末毎に予め設定でき、非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること	○					
			55	個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示/非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を確認できること	○					
			56	個人情報保護の観点から、利用者番号読み込み時には氏名を表示し、資料番号を入力すると表示していた氏名を隠すことできること	○					
			57	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えることまた、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること	○					
			58	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること	○					
			59	貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料が画面遷移することなく一覧で確認できること	○					
			60	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること	○					
			61	画面上に当日の貸出状況(点数・利用人数)をリアルタイムに準じて表示できること(表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とすること)	○					
			62	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること	○					
			63	貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みとを見間違わないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読み込んだ場合、利用者番号であることを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示させることができること	○					
			64	利用者の貸出詳細画面では、紛失登録・督促連絡記録を一括入力できること	○					
			レシート印刷	レシート印刷	レシート印刷	65	貸出処理後、利用者番号・利用者番号バーコード・利用者氏名・貸出資料・返却予定日・発行日・予約待人数・自由文等(端末毎に任意に設定可能)をレシートプリンタにより印刷できること また、「今回貸出のみ」「当日貸出」「利用者全貸出」「レシート未印字のみ」の印刷範囲指定が可能であること	○		
						66	貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料、延長済み資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること また、延滞貸出資料と督促貸出資料等、重複した貸出資料の場合、どちらの特定文字を印字するか優先順位を設定できること	○		
						67	代表返却期限日をレシート上段に印刷できること代表期限日は、貸出明細の中で返却期限が最も早いもの、最も遅いものを設定により変更できること	○		
						68	貸出明細を資料名、資料番号の両方を印字できること	○		
						69	貸出印刷指示時に明細行が0件の場合「あなたが借りている資料はありません」等の固定文字列が印刷できること	○		
						70	貸出印刷指示時に広告として企業情報、商品情報などを印刷できること	○		
						71	複数社に対応し、複数社の登録および登録された企業を順番に印刷できること	○		
						72	イメージデータは印刷できること	○		
						73	イメージデータは期間・時間帯、対象年齢、性別区分等の設定により出力されること	○		
						74	貸出レシートは再出力が可能であること 抽出条件として、全貸出中資料、当日貸出資料のみ、貸出日指定が選択できること	○		
						75	レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること	○		
						76	貸出処理後、利用者番号・利用者氏名・タイトル・人名・出版社・貸出館・資料種別・分類・返却期限・督促回数・合計貸出点数・発行日・頁数をページプリンタにより印刷できること	○		
			操作員通知	操作員通知	操作員通知	77	利用者区分毎に返却期限表の出力形式をレシート形式、またはページプリンタ形式に設定できること	○		
						78	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること	○		
						79	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること	○		
	80	貸出画面では、各種確認については確認する業務の性質上、必ずサブウィンドウで表示し、確認漏れのないようにすること 延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できること その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること				○				
	81	コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること				○				
	82	コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること				○				
	オンライン対応	その他	その他	83	ネットワーク等の障害発生時にはオンラインによる貸出処理ができること	○				
				84	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと	○				
	返却業務	返却手順	返却処理	1	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却を確定すること	○				
				2	資料番号を読み込んだ時点でDBを更新し、完了処理等が不要なこと	○				
		返却処理	3	不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること	○					
			4	ブックポスト等の多量の返却本を連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること(返却済み資料の表示を残しておくこと) その際、レシート印刷はリアルタイムに行い、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること 内容の一覧リストの印字は、設定により連続返却終了時に自動印刷が可能であること	○					
			5	連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること(返却済み資料の表示を残しておくこと)	○					
			6	返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却(不明処理)、一覧印刷の各処理ができること(返却期限表が任意に出せること)	○					
			7	家族連携登録をした利用者について、ワンタッチで家族の未返却資料一覧が表示できること	○					
			8	返却資料一覧表示時、資料種別(図書・雑誌・視聴覚資料等)貸出中資料が表示されること	○					
			9	返却手続きの際に、返却資料の保管場所情報を、処理端末の場所コードに変更するか否かを資料種別毎に設定できること	○					
			10	返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと	○					
			11	返却手続きにおける関連利用者へのチェックにおいて、返却利用者と返却利用者の家族連携利用者を対象にするか否かを設定できること 但し家族については、あらかじめ設定した家族連携利用者に限定することが可能なこと	○					
			12	返却時に予約資料を識別することができること	○					
			13	借受資料返却画面から、借受返却リストを印刷できること また印刷終了後、対象データを削除するかどうか確認メッセージを表示できること	○					
			14	相互貸借依頼中資料をチェックし表示ができること	○					
	15	借受資料返却画面から、借受返却リストを印刷できること また印刷終了後、対象データを削除するかどうか確認メッセージを表示できること	○							
	画面展開	画面展開	画面展開	16	資料詳細確認・修正処理に移行ができること(複本情報に対して同じ処理が可能なこと)	○				
				17	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダによる画面切替もできること	○				
	表示情報のクリア	表示情報のクリア	表示情報のクリア	18	貸出画面上で貸出中一覧を確認し、延滞通知を行うことができること	○				
				19	個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間(設定可能)が過ぎると表示情報のクリアができること(「表示クリア」ボタンを配置すること)	○				
	画面構成・表示	画面構成・表示	画面構成・表示	20	「表示クリア」ボタンを押した場合、設定により実行確認画面を表示し、「はい」「いいえ」の選択が可能なこと	○				
				21	個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと(利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数および延滞数(うち予約有り数)の表示を端末毎に設定できること)	○				
				22	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報(資料番号・資料名・返却期限等)についても、表示する項目や表示幅等が変更できること	○				
				23	返却資料の保管場所毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	○				
				24	返却資料の受入形態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	○				
				25	返却資料の更新後資料状態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	○				
				26	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること	○				

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
			27	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ画面展開できること(資料詳細、貸出情報等の参照機能も割当てられること)	○					
			28	返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること	○					
			29	未返却資料一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却(不明処理)、一覧印刷の各処理ができること(返却期限票が任意に出せること)	○					
			30	返却画面から返却処理を実施した利用者の貸出一覧を表示できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別(文字色・背景色)による表示が可能なこと	○					
			31	画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること(表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とする)	○					
			32	貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料が画面遷移することなく一覧で確認できること	○					
			33	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別(文字色・背景色)による表示が可能なこと	○					
			操作員通知	34	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること	○				
				35	確実に返却されない場合は、エラー音ができること	○				
				36	返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること	○				
				37	コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること	○				
			返却者確認	38	資料を借りていた過去数名分の利用者の貸出状況を一覧表示で確認できること	○				
				39	返却者一覧から、当日返却した利用者名を選択し、レシート印刷ボタンを押すことで返却証明書用紙をレシートに印刷できること	○				
				40	返却証明書には、利用者番号、貸出資料名、返却時刻および指定したメッセージを印刷できること	○				
				41	返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること(以下の例外を除く)	○				
				42	返却された資料番号から、①当日中に限り②前々回利用者までに限り③指定した人数に限り④運用に制限をつけ、返却者が確認できること	○				
				43	返却された資料番号から、①前回利用者に限り②前々回利用者までに限り③指定した人数に限り④運用に制限をつけ、返却者が確認できること	○				
				44	返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却操作端末ID・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること	○				
			オンライン対応 その他	45	返却者確認画面の表示内容を返却資料タイトル・返却利用者番号番号に制限することができること	○				
				46	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること	○				
			予約対応	47	返却資料の詳細をダブルクリックまたは右クリックすることにより、資料データの詳細情報(書誌詳細、ローカル情報一覧)が表示できること	○				
				48	利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること	○				
				49	予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、その資料は予約割当中とする	○				
			レシート印刷	50	返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送中②通常回送中③回送中にしないを選択可能にすること	○				
				51	予約割当中の資料を再度返却しても、割当対象の利用者は変わらないこと	○				
				52	予約されていた資料の返却時に、予約資料情報および予約割当て対象利用者の情報を予約割当通知票として自動的に印刷できること	○				
				53	予約割当通知票の最上部に割当対象利用者の氏名または氏名カナの先頭2文字を出力できること	○				
				54	予約割当票には、利用者コメントを印字できること また事前設定により、不要な特定コメントの印字を抑制できること	○				
				55	返却された資料がチェック対象の保管場所に設定されていたとき配架指示票が印刷できること	○				
				56	返却された資料が借受資料のとき、借受資料返却指示票を印刷できること	○				
				57	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること	○				
				58	予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること	○				
				59	予約割当票、予約回送指示票に印字可能な氏名について、印字部分の一部を「*」等でマスク秘匿化することが可能であること	○				
				60	予約割当レシートの再出力が可能であること	○				
				61	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること	○				
				62	返却期限票/利用者番号通知票/資料レシート/書誌レシート/予約状況レシート/タイトル一覧レシート レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること	○				
				63	レシートの画像は印字期間を登録し、開始/終了の管理ができること	○				
			資料検索業務	検索速度	1	300ヒットで5秒以内	○			
				検索方法	2	資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・受賞情報・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索、および図書館独自にて付与したキーワードによる検索、およびタイトルコード・NDC分類・請求記号・別置記号・請求分類・資料番号・発注番号・新刊案内号数(TRC週刊新刊全点案内)を検索項目にできること	○			
				検索方法	3	資料区分の複数選択による横断検索ができること	○			
					4	所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること	○			
					5	所蔵資料の検索対象に、除籍済み資料も含むことができること	○			
					6	発注中資料の検索対象に、返書登録中資料も含むことができること	○			
					7	論理演算子(AND、OR、NOT)を使用し、複数項目間の複合検索が行えること(5項目以上の複合検索に対応すること)	○			
					8	項目により前方/後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること	○			
					9	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること(同音異義でも検索でき、音首規則は任意に設定できること)	○			
					10	検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること(少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること)	○			
11	資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること	○								
12	「全文検索」では、複数の検索語をスペースで区切ることにより、「すべてを含む」または「いずれかを含む」といった掛け合わせができること	○								
13	「全文検索」で検索する際、「含めるキーワード」だけでなく「含めないキーワード」を指定することができること 例:「京都」を含み「東京都」を含めない	○								
14	全文検索と通常検索(前方一致等)は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること	○								
15	請求記号等の所蔵(ローカル情報)項目を一次キーとして検索できること(書誌項目との複合検索が行えること)	○								
16	検索対象の絞り込み条件が設定できること(基本的なこと(資料種別・保管場所・所在館・状態区分等)は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること)	○								
17	種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入区分、予算区分、除籍状態、貸出開始日の検索およびリストアップができること	○								
18	資料詳細情報確認画面から、書名、出版者のリンク表示を行い、各項目をクリックすることで、選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること	○								
19	本に印刷されているISBNバーコードを読み取って検索できること	○								
20	項目指定の検索で入力された検索語があらかじめ設定した文字数より少ないときは、自動的に完全一致に切り替わって検索できること	○								
印刷	21	検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと	○							
	22	検索した一覧を紙に出力する以外に、CSVおよびPDF形式に出力可能なこと	○							
	23	レシートプリンタに印刷する際には、指定した明細から件数を指定した一覧印刷が可能なこと	○							
絞込条件	24	ローカル項目(資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態)の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞り込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること	○							
典拠検索	25	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること(その関連を一覧画面で確認できること)	○							
	26	画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること	○							
	27	外部人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと	○							
再検索	28	検索条件を自動的に保存(保存件数は任意に設定できること)し、後から再検索できること	○							
	29	目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名(書名/版書名/シリーズ名等)、著者、出版者 ・欄目(タイトル、著者、件名)	○							
	30	再検索の際に、番号情報を含めずに検索可能なこと	○							
画面展開	31	検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合は、一覧画面に自動的に遷移できることまた、その件数は任意に設定できること	○							
	32	検索結果一覧画面から複本(ローカル)一覧画面、発注画面、目録画面、予約画面、資料詳細画面へ展開できること	○							
	33	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること	○							
	34	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認できること	○							
	35	複本一覧は開架場所に保管されている資料を優先して上位に表示できること	○							
	36	書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること	○							

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入						
			37	検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面 (複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細) に展開できること	○								
			38	検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること	○								
			39	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで督促連絡依頼表の出力画面へ展開し、督促連絡依頼表を貸出館のプリンタに直接出力できること	○								
			40	複本一覧画面にて、以下の項目の日付を時分秒まで表示できること 最終利用日 / 資料確認日 / 最終更新日 / 初回不明確認日 / 最終不明確認日 / 不明本発見日 / 除籍予定処理日 / 除籍処理日 / 貸出日 / 督促日 / 督促連絡日 / 前回貸出日 / 前回返却日 / 前回継続貸出日	○								
			41	検索結果を随時保存 (件数は任意に設定) し、選択することにより最新の検索結果を表示すること (同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること)	○								
			42	特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること	○								
			43	書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること (目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること)	○								
			44	検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること	○								
			45	検索結果から所蔵状態 (不明資料・除籍・貸出中等) の把握・修正が行えること	○								
			46	検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること	○								
			47	検索結果一覧画面は登録順 (最新が上) を常態とし、書名順・著者名順・分類順 (任意に設定可能なこと) に並べ替えること	○								
			48	検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色または文字色で色分けして表示できること	○								
			49	検索結果として表示する項目は任意に設定できること	○								
			50	予め画像や音声登録した資料であれば、資料詳細画面からその画像や音声を参照することができること	○								
			利用者登録業務	住所入力		1	住所ファイル有し、住所コードにより住所登録できること (住所コードの入力または選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること)	○					
						2	郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること	○					
						3	住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名 (カナ) もしくは郵便番号を入力すると該当資料コード一覧が表示し、簡易にコード入力が可能なこと	○					
						4	広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること	○					
						5	日本郵便提供の郵便番号データを利用して郵便番号入力時に住所表記の自動表示をすることができること	○					
				電話番号			6	郵便番号データはあらかじめ設定したスケジュールで自動的にダウンロードすること	○				
							7	複数の電話番号および連絡先を登録できること (この時、「保護者」「通勤先」などと別枠で入力でき、表示されること)	○				
							8	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること	○				
							9	家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること (前入力データのコピー機能を有すること)	○				
							10	利用者の検索機能を有すること	○				
							11	登録 (修正) 処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること	○				
							12	利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、または家族連携した利用者の情報も一括で修正できること	○				
							13	生年月日を西暦でも和暦でも登録できること	○				
							14	また西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式 (和暦、西暦) で表示されること 生年月日はなく年齢を登録する運用もできること	○				
							15	利用者名入力時に、自動入力機能も有すること (漢字のローマ字入力に基づいて振れること)	○				
			仮登録			16	貸出画面からワンタッチで利用者仮登録画面に展開し、簡易に利用者仮登録を行うことができること	○					
						17	利用者仮登録画面の初期入力値を、利用者番号に設定可能なこと仮登録時に利用者番号以外の入力を省略することが可能なこと	○					
						18	図書館利用データ (貸出状況等) を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること	○					
			再発行			19	利用者の有効期限の管理を行うことができること尚、貸出、返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと	○					
						20	利用者氏名カナ、電話番号、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に実行すること	○					
			パスワード登録			21	利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること	○					
						22	E-Mailは最大6個まで登録できることまた、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること	○					
						23	パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと	○					
						24	パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること	○					
						25	ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること 但し桁数等の基本情報を設定することができること	○					
						26	仮パスワードには、数字・英文字・記号が使用できること	○					
						27	仮パスワードには有効期限を設けることができること	○					
						28	利用者登録画面上でパスワードの参照・編集ができないように制限できること	○					
						コメント管理			29	利用者情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること	○		
									30	利用者情報に付加するコメントの表示順を設定できること	○		
			31	利用者情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること	○								
			32	利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと	○								
			管理情報			33	管理項目として、データ登録館、データ登録サービスポイント、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること	○					
						34	利用者毎の過去5年分の利用実績 (貸出数、利用回数) を参照できること	○					
						35	利用者情報の更新履歴を確認できること	○					
			その他			36	利用者詳細情報画面を表示する際に、利用者の個人情報を非表示状態で画面表示でき、また非表示/表示がワンタッチで切替できること	○					
37	年齢は生年月日から自動計算し表示すること (年次処理等は不要であること)	○											
38	生年月日はなく年齢の登録で運用する場合でも、年次処理などによる年齢加算の処理は不要であること	○											
39	利用者カードの有効期限は自由に設定できること	○											
予約リクエスト業務	予約処理					1	予約資料の現在の状態 (利用可能、予約中等) の管理が行えること (貸出予定日を表示できること)	○					
						2	利用者からのリクエストに対応するため、未所蔵資料への予約登録ができること	○					
						3	未所蔵資料への予約登録時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること	○					
						4	利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること	○					
						5	利用者単位の予約上限数は、資料区分 (図書、雑誌、AV) の任意の組み合わせにより設定できること	○					
						6	特定した予約 (割当て済みを含む) を解除できること	○					
			7	割当て済みの予約の割当て状態を解除したとき、予約データを残すのか取り消すのか選択できること	○								
			8	割当て済みの予約の割当て状態を解除し、予約データを残すとき、予約順位を最下位にするか割当て待ちの最上位にするか設定できること	○								
			9	予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること	○								
			10	受付館・受領館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること	○								
			11	本人が借りている資料のタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分毎にできること	○								
			12	本人が予約しているタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分毎にできること	○								
			13	館同士の資料の予約連絡をシステムと連携したメッセージ機能により行えること また、受け取った内容に関して確認や拒否等を行えることができ、関係する資料、利用者の詳細情報を表示、修正することができること	○								
			14	資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続一括予約を行えること	○								
			15	グループ予約 (複数資料に任意の予約数を割当てること) が可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと	○								
16	グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること	○											
17	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	○											
18	通常予約済みの複数予約情報を後からグループ予約、セット予約ができること	○											
19	グループ予約をあとからセット予約または通常予約に変更できること	○											
20	セット予約をあとからグループ予約または通常予約に変更できること	○											
21	シリーズ本など、あらかじめセットとして扱うタイトルのグループを登録することにより、同じグループのタイトルが予約された際に自動的にセット予約にすることができること	○											
22	任意の予約を選択し、予約取消が行えること	○											
23	予約取消を行う場合、「取り置き期限超過」等の予約取消理由を登録できること	○											
24	取消した予約を確認することができること	○											
25	取消した予約を復元することができること	○											
26	貸出可能資料が自館になく他館にはある場合に、他館に対して予約回送依頼のメッセージをシステムから送信し、管理することができること	○											
27	予約回送依頼は各館毎に設定した優先順位に準じて回送依頼送信されること	○											
28	予約回送依頼は依頼を実施した館で取消できること	○											

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入		
資料管理業務	書誌データ管理業	書誌データ管理	29	予約回送依頼は依頼を受けた館で拒否できること。拒否した場合は、次に優先順位の高い館に対して自動で回送依頼送信ができること	○				
			30	予約取消が行われた場合、回送依頼は自動で取消されること	○				
			31	予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間 (任意設定可) 貸出されない予約資料を抽出・割当解除することで次の予約者が利用可能なこと	○				
			32	利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること (予約棚にある資料を使い直接予約をかけられること)	○				
			33	複本がある場合、全ての複本に予約がかけられ、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること	○				
			34	相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと (予約対象のタイトルが全て借受資料のときに注意メッセージが表示されること)	○				
			35	資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと	○				
			36	特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当されないこと	○				
			37	特定資料に対して予約をした場合は、複本が返却されても予約割当されないこと	○				
			38	長期延滞利用者への予約割当制限ができること	○				
			39	長期延滞資料 (貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する) のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約割当を制限できることまた、職員判断により予約割当もできること	○				
			40	予約メモの入力ができること	○				
			41	予約メモは定型文や手入力、またはその両方の組み合わせができること	○				
			42	利用者情報等で定型文の予約メモを登録することができ、設定登録されている利用者の予約時には、自動的に予約メモの登録がおこなえること	○				
			43	予約メモ情報は、返却時に出力されるシートに印字可能であること	○				
			44	資料予約入力画面及び利用者予約一覧画面に、「代表サブタイトル」を表示できること	○				
			予約管理情報	45	予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと	○			
				46	予約受付および受け渡し場所は、設定により館またはサービスポイントの指定が選択できること	○			
				47	窓口での予約受付場所は、各端末に設定された館またはサービスポイントを初期表示すること	○			
				48	予約の新規登録時、予約受付場所は、設定により初期値を変更できないようにすることができること	○			
				49	予約受付場所の初期値を変更できない設定の時でも、登録後に修正が可能なこと	○			
				50	予約した際の予約日時を管理することができること	○			
				51	予約順位は受付方法 (窓口・館内OPAC・WebOPAC) にかかわらず、登録した順番とする	○			
				52	予約順位の変更ができること ただし、予約受付時間は変更されないこと	○			
				53	予約受付時間を変更しても、予約順位は変更されないこと	○			
				54	予約された資料の割当方法 (返却待ち、借受待ち、発注待ち等) の情報を管理できること	○			
				55	受取希望日の入力、管理が可能なこと	○			
				56	受取希望日を過ぎた予約がある場合、貸出画面や返却画面でメッセージが表示され、利用者に確認ができること また、受取希望日を過ぎた予約リストを出力し、予約の一括取消ができること	○			
				57	予約申込方法 (来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約) の管理ができ、申込方法毎の統計資料が出力可能なこと	○			
			予約連絡管理	58	資料の予約回送が無駄なく行うため3件の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館毎の優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること	○			
				59	資料の予約回送が無駄なく行うため複数資料の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館毎の優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること	○			
				60	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象: 全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定: 予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号および利用者番号のバーコードを印字できること	○			
				61	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理および連絡方法により、メール一括送信、ハガキ作成が可能であること ・抽出条件: 利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法 (電話、E-Mail)	○			
			62	予約在庫リストの出力時、予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること	○				
			予約制限	63	予約在庫リストの出力時の表示条件として、閉架書庫の資料を優先して上位に表示することができること	○			
				64	予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること	○			
				65	予約したタイトルに対して、割当対象館を複数指定できること	○			
				66	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること	○			
				67	特定タイトルに対して、期間を指定した予約受付制限を実施すること	○			
				68	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと	○			
				69	予約割当を禁止したい (予約させたくない) 資料を特定の別置/分類や保管場所指定することが可能なこと	○			
			70	長期延滞資料 (貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する) のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約受付もできること	○				
			71	長期延滞資料 (貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する) のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること また、職員判断により予約受け付けもできること	○				
			予約上限	72	予約の上限設定に、申し込み方法 (窓口/電話/OPAC/Web) およびタイトルの媒体区分毎に予約の上限設定が可能なこと	○			
				73	1日に予約可能な件数を制限できること (申し込み方法毎)	○			
				74	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること	○			
			予約変更・取り消し 画面展開・表示	75	予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと	○			
				76	返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること	○			
				77	検索結果から予約処理に展開することができること	○			
				78	予約者の予約・貸出状況 (予約数・貸出数・督促数・延滞数) を予約受付画面に表示できること	○			
			79	予約者の一覧を、氏名をつけてワンタッチで出せること	○				
			相互貸借業務	予定入力 受入処理	80	基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと	○		
					1	他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと	○		
					2	借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること (借受資料登録用の専用画面は持たないこと)	○		
					3	他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること	○		
					4	どの館かどの資料を借りているか画面で表示できること (借受館へ返却済みか等の状態も表示できること)	○		
					5	借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力してなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること	○		
6	借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること	○							
借受先への返却期限	7	借受予定の資料に予約がかけられること	○						
	8	借受資料単位に借受先への返却期限を管理できること (一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合、貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること)	○						
返却処理	9	他館資料を返却した際に、借りの履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること (次回再利用できること)	○						
	10	他館資料を返却した際に、誤って次の予約を登録している場合に、予約割当を抑制すること等により、相互貸借資料の再貸出を制限できること	○						
履歴	11	他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どの図書館から借りたかの管理が可能なこと	○						
	12	借受状況を表示する際、文字色・背景色の設定ができ、借受期限切れ資料の確認が容易にできること	○						
	13	年報 (相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数) や業績一覧 (借受タイトル・貸出タイトル) が印刷できること	○						
資料管理業務	書誌データ管理業	書誌データ管理	1	典拠データを利用してMARCデータを登録できること	○				
			2	MARCの各種書誌情報 (記事・内容等) を登録・修正することができ、検索対象とすることができること	○				
			3	日本図書館協会が販売しているMRDF9 (日本十進分類法新訂 9 版機械可読ファイル) を分類検索用データとして取り込むことができること	○				
			4	NDCは「8版と10版」というように複数のNDCを登録・管理でき、メインで使用するNDCを設定することができること	○				
			5	書誌情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること	○				
			6	書誌情報に付加するコメントの表示順を設定できること	○				
			7	書誌情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること	○				
			8	複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること	○				
			9	図書館独自のキーワード情報を登録できること。 CSVファイルでの一括登録ができること	○				

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
ローカルデータ管理業務	ローカルデータ管理	ローカルデータ管理	10	TOOLi等のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと	○					
			11	定期的にTOOLiサーバー上のMARCデリバリアイルを確認し、新規(未処理)のMARCデータファイルが配信されている場合には自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理を実行できること	○					
			12	「日本目録規則2018年版」(NCR2018)による、TRC_TタイプのMARC改定版に対応すること	○					
			13	TRCMARC (Uタイプ) に対応すること (人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること)	○					
			14	TRCMARC (Tタイプ) に費用を追加することなく対応できること	○					
			15	TOOLi等のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと	○					
			16	定期的にTOOLiサーバー上のMARCデリバリアイルを確認し、新規(未処理)のMARCデータファイルが配信されている場合には自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理を実行できること	○					
			17	TOOLiサーバー上のMARCデリバリアイルの自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理は電子書籍MARC (抽出MARC、更新MARC) も実行できること	○					
			18	JIS78で入力された文字とJIS90で入力された文字を同一視できること 例)「纏くぐれ」と「纏くぐれ」	○					
			19	トールンMARC V1.5に対応すること						
			20	文字コードはShift-JISとUTF-8に対応すること						
			21	本タイトルにルビのある書名についてのルビ読みを除いた書名(2 5 1 Cタグ)が取り込めること						
			22	抄録・著者紹介の拡張タグが取り込めること						
			23	内容細目ファイルの取り込みができること						
			24	著者典拠ファイルの取り込みができること						
			25	各種AV-MARCに対応していること	○					
			26	各種情報を可変長にして登録し、検索することができること	○					
	27	複数所蔵資料のデータ管理が行えること	○							
	28	国立国会図書館が提供する『JAPAN/MARC MARC21フォーマット』形式のMARCファイル取り込みができること	○							
	29	図書登録画面からNDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報を検索する画面に展開し、検索した結果をコピーして書誌の登録ができること	○							
	30	NDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報はNDC10版データを登録ができること	○							
	31	所蔵資料の資料区分・統計分類毎に点数・金額を集計し、内訳表を出力できること	○							
	32	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	○							
	33	統計データをExcelと連携し、2次加工できること	○							
	ローカルデータ管理業務	ローカルデータ管理	ローカルデータ管理	1	ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること	○				
				2	ローカル情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること	○				
				3	ローカル情報に付加するコメントの表示順を設定できること	○				
				4	ローカル情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること	○				
				5	資料バーコード読み込みによるローカル情報の連続変更および条件の範囲指定による一括変更ができること (所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)	○				
				6	資料番号が登録されたテキストファイルの読み込みによるローカル情報の連続変更ができること (所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)	○				
				7	借受資料登録時は借受先が入力できること	○				
				8	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと	○				
				9	複本のデータ管理が行えること	○				
10				資料の除籍・復籍処理が連続で行えること	○					
11				蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること	○					
12				資料の新規登録時、資料種別がバーコード上の特定の桁位置の値から判別できる場合は自動的に表示すること	○					
13				資料の新規登録時、資料種別が書誌情報のNDC分類または別置から判別できる場合は自動的に表示すること	○					
14				資料の新規登録時、請求記号を書誌情報の下記項目をもとに初期値を表示できること NDC分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻間記号、別置記号	○					
15				資料に付与された定型コメントを抽出し、一括削除できること	○					
16				蔵書点検は所蔵館方式ではなく、所在館方式で管理しても実施できること	○					
17				蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること	○					
18		蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする	○							
19		蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること	○							
20		蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること	○							
21		蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること 設定された条件は、変更・削除が可能なこと	○							
22		蔵書点検期間中でも発注や受入ができること	○							
23		蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること	○							
24		蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること	○							
25		蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること	○							
26		不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること	○							
27		任意指定回数以上の不明候補を一括で除籍に変更できること	○							
28		蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること	○							
29		特集毎に資料番号の読み取り、または、POT等を使用して出力した資料番号データを取り込むことにより、資料が登録できること また、登録済みの特集に資料番号の読み取りにより追加・削除ができること	○							
30		特集へ登録した資料の所蔵館、保管場所を一括で変更できること また、特集終了後は変更前の所蔵館、保管場所を一括で戻ること	○							
31		特集を一時停止できること 一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること	○							
32		一時停止した特集を復帰処理させると、特集を再開できること 例) クリスマス特集を来年度も再利用できる	○							
33		特集資料管理画面では特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること	○							
その他	その他	その他	34	特集へ登録している資料一覧を印刷できること	○					
			35	特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること	○					
			36	特集の開始・停止・再開・終了は自動で行われず、任意のタイミングで手動で行えること また、自動で停止/終了する運用も可能であること	○					
			37	複数の特集を同時に管理できること	○					
			38	1点の資料を複数の停止中の特集に登録できること	○					
			39	特集に資料を登録したとき、他の特集に登録済みの資料であるかチェックされること	○					
			40	現在有効になっている特集に登録済みの資料を他の特集に登録した場合、登録済みの特集名を表示でき、新規の特集に登録変更するか変更しないか選択できること	○					
			41	特集毎に開始日/終了予定日に合わせて自動的に所蔵館、保管場所の変更を開始/停止する設定ができること 手動での動作に戻すこともできること	○					
			42	特集毎に年齢別の貸出冊数統計が出力できること	○					
			43	借受け先別順の資料リストが出力できること	○					
			44	弁償待ち資料の一覧が作成・印刷できること	○					
			45	資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別+請求記号順にてソートできること	○					
			46	除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること 全館の複本冊数/全館の利用可能冊数/最終利用日/通常貸出累計数/本年度貸出累計数	○					
			雑誌管理業務	雑誌管理	雑誌管理	1	タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル/巻号の書誌連携が行えること	○		
						2	タイトルと巻号情報が分けて管理されること	○		
						3	各種データを可変長にて登録し、検索できること	○		
4	最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること	○								
5	逐次刊行物 (雑誌等) の欠号・増刊管理ができること	○								
6	最新号受入登録時に、「通巻番号」の全号との比較で欠号チェックを行い、チェックメッセージを表示できること	○								
7	逐次刊行物等の製本 (合本) 処理ができること	○								
8	また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること	○								
9	最新号を受け入れたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること	○								
10	最新受入が「別冊」や「増刊号」の場合、最新号とは別扱いとし、「定期号」の最新号を貸出禁止の状態を保つことができること	○								
10	雑誌タイトル毎に保存期間、開架期間、貸出禁止期間の設定ができること	○								

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
選書業務	その他	外部公開 その他	11	雑誌タイトル毎に保存区分の設定ができること 保存区分には「永久保存」の設定ができること	○					
			12	雑誌のローカルデータで、開架から閉架に移動する期日を管理できること	○					
			13	おすずめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること	○					
			14	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること	○					
			15	タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること	○					
			16	未利用資料の一覧が印刷できること また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること	○					
			17	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること	○					
			18	資料番号またはISBN番号またはMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の書誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること	○					
			1	ISBN番号から選書登録ができること	○					
			2	MARCを利用して選書登録ができること	○					
			3	TOOL連携時には、TOOLを利用したMARC番号入力により選書登録ができるオプションを備えていること。(今回は導入しない)	○					
			4	見づらい本等を使用して、選書候補となる資料を「選書登録」または「一括選書登録」ができること	○					
			5	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること	○					
			6	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、発注の状態を変更できること	○					
			7	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、選書取消ができること	○					
			8	選書登録した資料を一括で発注処理ができること	○					
			9	選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと	○					
			10	選書登録画面で各館の選書状況を確認できること	○					
11	選書の一括登録時、館毎の注文数を指定して登録できること	○								
12	登録した選書情報を選書リストに出力できること	○								
13	選書リストに対象資料の集計金額を出力できること	○								
14	選書リストに発注番号のバーコードを出力できること	○								
15	選書リストに出力したバーコードを利用して、資料の選書状態/保留状態を変更できること	○								
発注・受入管理業務	発注・受入管理	発注・受入確認	1	発注状況、受入状況が画面で確認できること	○					
			2	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること(発注中のステータスを画面上に表示できること)	○					
			3	発注図書にそのリクエスト者(複数)入力できること	○					
			4	新刊MARCを利用した発注が可能なこと	○					
			5	インターネットを利用したMARCデータの受発注システム(TRCのTOOL等)に対応すること	○					
			6	同一タイトルに対する「二重発注」「既に所蔵済」の場合、チェック誤発注の抑止ができること また、発注点数および複本点数を表示すること(他に何点発注しているかあるいは他に何点所蔵しているか分かること)	○					
			7	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと(一点毎の確定を必要としないこと)	○					
			8	発注情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること	○					
			9	発注情報に付加するコメントの表示順を設定できること	○					
			10	発注情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること	○					
			11	発注の取消が行えること	○					
			12	発注取消データから再発注ができること	○					
			13	発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること	○					
			14	TRCの発注データを作成できること(作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること)	○					
			15	新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること(TRCの発注データは作成しない)	○					
			16	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること	○					
			17	TOOL一括発注画面を使用したTOOLサーバーへの直接発注時に、以下の発注種別を指定できること 通常発注/クワック発注/見づらい発注	○					
			18	TOOL連携時、発注一覧画面での「注文済」状態の発注情報に対し、以下の情報を出力できること TOOL進捗状況/TOOL受信方法/TOOL受注形態/TOOL受付日/TOOL入荷日/TOOL出荷日	○					
			19	MARC番号発注での発注入力時に、TOOLサーバーを参照して発注するタイトルの在庫状況を表示できること	○					
			20	MARC番号発注での発注入力時に、予め設定したルールに従って請求記号を自動表示および登録できること	○					
			21	MARC番号発注での発注入力時に、発注ローカル情報に発注コメントが付与できること	○					
			受入処理			22	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること(受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること)	○		
						23	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること	○		
						24	発注情報を参照しながら受入処理が行えること	○		
						25	資料のISBNバーコードを読み取って書誌を特定して受入できること	○		
						26	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること(検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること)	○		
						27	受入時に資料状態の初期値を任意に設定できること	○		
						28	受入後一定期間、新着資料として識別することができること	○		
						29	受入リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件: 所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件: 館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順	○		
						30	受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力、およびテキスト出力にて、ISBN番号を出力できること	○		
						31	雑誌受入リスト印刷で発行周期を出力できること	○		
						32	新着資料案内を印刷できること	○		
						新着資料印刷 予算管理			33	資料の受入先(書店等)が複数の場合でも予算管理ができること
			34	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること	○					
			35	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること	○					
			36	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること	○					
1	利用者氏名(カナ・漢字・アルファベットで全半角混在可能)・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること	○								
2	複数の項目に入力することによりAND検索ができること	○								
3	入力した検索条件に該当する利用者として、その利用者に対して事前に関連付けられた家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	○								
4	入力した検索条件に該当する利用者として、電話番号、もしくは、住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	○								
5	検索中断件数を設定できること(検索中断キーにより任意に中断できること)	○								
6	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること	○								
7	利用者一覧にて表示できること	○								
8	項目の種類・幅・順番を任意に設定できること	○								
9	利用者の詳細情報を表示できること(氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること)	○								
10	検索された利用者特定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること	○								
11	検索された利用者特定し、その家族が検索できること(家族連携対象者および電話番号一致利用者)	○								
12	検索された利用者を選択し、選択した利用者の利用者番号を引継ぎ貸出処理へ展開ができること	○								
13	デフォルトカーソルの位置は、任意設定が可能なこと	○								
14	入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること	○								
15	ローカル端末による利用者検索では、公共、学校(自グループ)のみ検索対象とする	○								
利用者抽出			15	団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること	○					
			16	地区別に利用者集計を出力できること	○					
			17	抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	○					
利用者処理			18	統計データをExcelと連携し、2次加工できること	○					
			19	利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・利用状態区分一括変更・一覧印刷が可能なこと	○					
無効処理 督促・予約処理			20	最終利用日から一定期間(任意に設定可)を過ぎた利用者無効(除籍)にできること	○					
			21	貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること	○					
			22	一定期間以上未返却の資料、または返却予定日の範囲指定および督促回数により、督促はがきを印刷できること(印刷する利用者を任意に選択できること)	○					
			23	督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定(はがきの印刷)が可能なこと	○					
			24	督促はがきの印刷は郵便番号順にソートが可能なこと	○					
			25	督促はがきの印刷実行時に、督促連絡回数を加算できること	○					

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
館内OPAC	全般 検索		26	返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種別等に打ち出せること）	○					
			27	督促状態で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること	○					
			28	督促状に資料名・資料番号のいずれかを印字するか選べること	○					
			29	督促はがきにコメントを印刷できること	○					
			30	はがきに「料金後納郵便」を印字できること	○					
			31	督促状はA4サイズのドライシユーラ（単票）の用紙にも対応できること	○					
			32	督促状は封書（B5サイズ）にも対応できること	○					
			33	督促状は秘匿感熱用紙（はがき）にも対応できること	○					
			34	予約連絡メール、督促連絡メールをシステムから送信できること また、あらかじめ送信時間、送信曜日、送信対象期間等を設定して自動で送信もできること	○					
			35	複本一覧画面から、貸出中資料の貸出利用者に対して督促連絡を依頼する督促連絡票を、貸出館のプリンタに直接出力できること	○					
			紛失・弁償管理	36	貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中または弁償中という状態を管理できること	○				
				37	紛失資料の一覧が印字できること	○				
			予約連絡管理	38	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号および利用者番号のバーコードを印字できること	○				
				39	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメール、はがきによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail）	○				
			督促連絡管理	40	督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：返却期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡館、連絡方法 ・利用者に対して督促対象外コメントを入力した場合、リストから対象外とすること ・上記督促リストは督促処理などのバッチ処理を不要とすること	○				
				41	督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、返却期限日、督促連絡日、督促日、督促回数、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法（電話、E-Mail等）、連絡回数、連絡状態	○				
				42	前回の督促連絡管理の抽出条件を、時間の抽出条件の初期値として表示することができること	○				
				43	督促連絡済の記録について、資料毎の連絡回数と各連絡時の情報（連絡日、連絡方法、備考等コメント）、連絡状態の管理が可能なこと	○				
			E-Mail機能	44	次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者詳細画面	○				
				45	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること	○				
				46	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の貸出情報を連絡できること	○				
				47	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の貸出資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の貸出資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること	○				
				48	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること	○				
				49	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の予約情報を連絡できること	○				
				50	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の予約資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の予約資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること	○				
				51	返却期限日が近づいている利用者に対して、返却期限日をお知らせするメールを送信できること	○				
				52	返却期限日を知るメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること	○				
				53	返却期限日が過ぎている利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること	○				
				54	返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること	○				
			その他	55	利用者カードの有効期限を更新するとき、次のいずれの日付を基準として起算するか設定できること ・カードの更新を行った日から起算する ・カードの有効期限日から起算する ・カードの利用者の生年月日から起算する	○				
				56	利用者カードを再発行時に有効期限を更新するか否かを選択できること	○				
			館内OPAC	全般 検索		1	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること	○		
						2	ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと	○		
		3	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること			○				
		4	フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること			○				
		5	フリーワードによる検索時、資料番号の検索ができること			○				
		6	資料区分（図書・雑誌・AV（音響資料・映像資料））または全資料より選択して検索できること			○				
		7	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること			○				
		8	検索対象とする館を自館のみか全館または複数の館を選択した上で検索できること			○				
		9	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること			○				
		10	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること			○				
		11	タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書が児童書で絞った後でも可能なこと）			○				
		12	50音表記から検索キーの入力ができること（この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと）			○				
		13	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること			○				
		14	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること			○				
		15	検索結果が並び替え（ソート）可能なこと			○				
		16	フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと			○				
		17	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること			○				
		18	特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること			○				
		19	予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること			○				
		20	発注中の資料を館内OPACで公開でき、検索／予約の対象にできること			○				
		21	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること			○				
		22	館内OPACでキーワードを使用することなく、漢字検索を行うことができること			○				
		23	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること			○				
	画面構成・表示	24	大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること			○				
	25	画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻ること	○							
	26	一覧表示形式は、タイトル毎に構形式に表示すること	○							
	27	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること）	○							
	28	資料情報明細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること	○							
	29	除籍予定や不明資料などは表示しないこと（状態区分により、任意に設定できること）	○							
	30	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する	○							
予約	31	館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと	○							
	32	予約が完了したら認証済み状態ではなくなること	○							
	33	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること	○							
	34	未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること	○							
	35	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること	○							
	36	長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること	○							
	37	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること	○							
	38	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること	○							
	39	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること	○							
	40	自館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する／しないを設定できること	○							

3. システム機能要件 (基本)

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
			41	他館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する/しないを設定できること	○					
			42	複数もしくは単数のタイトルを1回の認証で予約ができること	○					
			43	タイトル一覧画面で予約ができないタイトルは、複数選択のボタンの選択ができないようになっていくこと	○					
			44	タイトル一覧画面で複数のタイトルを選択したとき、ページを移動しても選択したタイトルは記憶していること	○					
			45	予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能なこと	○					
			46	予約受付時の、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを省略可能なこと	○					
			47	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者のみに受渡館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと	○					
			48	連絡方法は利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること	○					
			49	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくて きること	○					
			50	選択したグループに属する受取場所が1つか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること	○					
			51	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること	○					
			52	検索した資料が貸出中もしくは他館にある場合はOPACから予約をかけることができること (利用者番号とパスワードを入力すること)	○					
			53	館内OPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること	○					
			セット予約			54	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	○		
			貸出・返却			55	バーコードリーダーを設置することによって、利用者自身が貸出・返却手続きを行えること	○		
						56	住基利用者カードを図書利用券として活用できること 非接触型のICカードにカセットで、簡単に図書を借りることができること	○		
			パスワード登録			57	OPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと	○		
						58	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること	○		
						59	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、生年月日、電話番号で認証すること	○		
						60	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること	○		
						61	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証すること	○		
						62	新規パスワード登録時、氏名(カナ)を漢字化してチェックできること 例) 入力文字「ジュンコ、ジュンゴ、ジュンコ、ジュンコ…」を漢字「ジュンコ」と見なす	○		
			利用状況照会			63	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること	○		
						64	延滞ペナルティ(予約・貸出制限)期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること	○		
						65	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る)	○		
						66	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること	○		
						67	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること	○		
						68	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること	○		
						69	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること	○		
						70	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること	○		
						71	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	○		
						72	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること	○		
						73	督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	○		
						74	利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること	○		
						75	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること	○		
						76	利用者が予約を解除せずに予約割当のみを解除できること	○		
						77	取消された予約資料が一覧で確認できること	○		
						78	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかあらかじめ設定できることまた、同じ画面で一覧表示する場合は予約確保されている資料が一覧の上に表示できること	○		
						79	利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること	○		
						80	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	○		
						81	利用者が予約中のリクエスト資料については予約取消ができないようにすること	○		
						82	利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること	○		
						83	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	○		
						84	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者には延滞警告メッセージを表示できること	○		
			利用情報変更			85	利用者のパスワードおよびメールアドレスの変更が可能なこと	○		
						86	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること	○		
			利用者機能			87	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること	○		
						88	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること	○		
						89	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	○		
						90	利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること	○		
			検索結果印刷			91	検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと (レシートプリンタ等)	○		
						92	一画面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること (連打防止の機能を有すること)	○		
						93	自館所蔵資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること	○		
						94	自館に利用可能資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること	○		
						95	所蔵情報の明細は自館所蔵のみに限定できること	○		
						96	所蔵情報の明細は自館利用可能資料のみに限定できること	○		
						97	配架画像が印刷できること	○		
			レシート印刷			98	館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること	○		
						99	館内OPACから在架場所一覧をレシートに印刷できること また在架場所を配架図としてイメージ印刷できること	○		
						100	予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード/利用者番号/利用者漢字/利用者カナ/予約受渡館/予約受渡SP/予約連絡方法	○		
						101	予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード/資料番号/タイトル/著者/出版者/出版年/ページ数/価格/請求記号	○		
						102	予約状況レシートに以下の情報が出力できること 発行日/利用者番号/タイトル/予約日/受渡館/予約順位	○		
						103	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票/利用者番号通知票/資料レシート/書誌レシート/予約状況レシート/タイトル一覧レシート	○		
						104	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること	○		
						105	印字期間を登録し、開始/終了の管理ができること	○		
			お知らせ			106	催し物表示ができること	○		
						107	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること	○		
						108	案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館毎にカレンダー形式で表示できること (システムと連動して自動的に表示できること)	○		
						109	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること (予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること)	○		
						110	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	○		
						111	現在 (データ抽出処理時点) の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	○		
						112	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	○		
						113	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件および処理サイクルに従ってサーバー上で自動作成されること このとき、業務端末は起動してなくてもよいこと	○		
						114	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末上で手動で作成することもできること	○		
			統計処理			115	館内OPACのアクセス統計がとれること	○		
						116	館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること	○		
						117	館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること	○		
			Web蔵書検索システム		全般	1	インターネット蔵書検索が可能なこと	○		
						2	Webサーバー上に公開データベースを持ち、検索ができること	○		
						3	蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォン・タブレットからも検索ができること	○		
						4	LINEや個別アプリ等との連携ができること、Android、iOSに対応すること	○		
					検索	5	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること	○		
						6	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること 両方の画面があること	○		
						7	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND/ORによる複合検索ができること	○		
						8	フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること	○		

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位: 必須 ○ 希望 △

対応区分: 可能 ○ 一部 △ 不可 ×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入
			9	資料種別 (図書・雑誌・AV (CD・ビデオ・DVD等)) または全資料より選択して検索できること	○		
			10	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること	○		
			11	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること	○		
			12	資料名 (3項目以上の複合検索が可能なこと)、人名 (同左) による検索のほか、出版者・発行者・件名・NDC分類・受賞名・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと (フリーワード全文検索機能を有すること)	○		
			13	検索結果一覧として、以下の項目 (該当件数・現在頁数および全体頁数)・項番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月等) を表示できること	○		
			14	一覧表示数は3頁に30件を標準とし、25件・50件・300件と選択可能なこと	○		
			15	詳細表示として以下の項目 (書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等) を表示できること	○		
			16	WebOPAC書誌詳細画面は、ルーIALIZEDされたURLにアクセスすることで、図書館ホームページ等から該当資料の書誌詳細画面を直接開くことができること	○		
			17	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件 (タイトル、人名、出版者等) を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること	○		
			18	検索対象とする館を複数選択した上で検索できること	○		
			19	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること	○		
			20	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること	○		
			21	資料データの状態 (貸出状態、予約状態、資料状態) は業務サーバーと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること	○		
			22	検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること	○		
			23	検索結果一覧、詳細画面で書名をクリックすることにより、選択した書名で再検索できること	○		
			24	発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索/予約の対象にできること	○		
			25	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること	○		
			26	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること	○		
			27	外部公開機能の新着リスト・新刊リスト・貸出ベスト・予約ベストの表示対象資料・期間を利用者が指定して表示できること	○		
			28	検索結果一覧は、資料イメージを中心としたカードモードと文字情報を中心としたシンプルモードで表示することができ、モードの切り替えを利用者自身が行えること またカードモード・シンプルモードの初期表示設定を利用者自身でできること	○		
			29	シンプルモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・項番・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること	○		
			30	カードモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・書影表示領域・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること	○		
			31	利用者区分・利用者貸出形態区分・住所コードの組み合わせごとに検索条件を設定できること	○		
			32	団体向けの資料を団体利用者のみに表示、障害者向けの資料を障害者のみに表示、市内在住の利用者へのみ未所蔵の資料を表示することができること	○		
			33	図書館が独自作成・登録した地域資料等の画像データを検索・表示することができること	○		
			*	フリーワード/キーワードの検索欄で予測表示された検索語を使用して資料検索ができること	○		
			*	検索結果一覧画面で表示される書誌を、検索画面に戻ることなく指定の項目 (資料区分・所蔵館・シリーズ・人名・日本十進分類・出版年・出版国等) で絞り込むことができること	○		
			*	タイトル詳細画面で表示中の書誌と著者・出版年・分類・件名・受賞名・シリーズ名・雑誌名に関連する書誌を関連資料として表示できること	○		
	画面構成・表示		34	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する	○		
			35	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること (複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること)	○		
			36	「JIS X 8341-3 : 2016」のAAに準拠し、読上げソフトに対応したデザインであること	○		
			37	画面幅779px以下で表示した場合、スマートフォンやタブレットでも見やすいように自動的にデザインが切り替わること	○		
	予約		38	予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと (予約データはリアルタイムに業務サーバーに反映されること)	○		
			39	予約カート方式であること	○		
			40	予約上限チェック (Web+図書館基本システム) が可能なこと	○		
			41	P Cブラウザ画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること また、カート登録はログインしなくてもできることとした場合は予約カート直観をサーバー側に保持できること	○		
			42	予約などの認証時に使用するパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること	○		
			43	予約の際には、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと	○		
			44	予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること	○		
			45	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること	○		
			46	未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること	○		
			47	利用停止や除籍予定の利用者の予約受付を制限できること	○		
			48	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること	○		
			49	長期延滞資料 (貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること	○		
			50	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること	○		
			51	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること	○		
			52	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること	○		
			53	予約受付時の連絡方法登録は、利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること	○		
			54	予約受付時の、予約受取館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受取館を表示できること これにより特定の利用者のみに受取館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと	○		
			55	予約受渡のサービスポイントを受取場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること	○		
			56	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスナップして次の画面に遷移できること	○		
			57	予約後、受取場所を利用者自身で変更できること	○		
			58	WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること	○		
	セット予約		59	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	○		
	お気に入り登録		60	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと	○		
	パスワード登録		61	WebOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと	○		
			62	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること	○		
			63	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること	○		
			64	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名 (カナ)、電話番号等で認証すること 新規パスワード登録時、氏名 (カナ) を消音化してチェックできること 例) 入力文字「シュンゴ、シュンゴ、シュンゴ、シュンゴ」を消音「シヨウコ」と見なす	○		
	利用状況照会		65	利用者の貸出状況・予約状況という利用状況にあわせ、利用照会メニュー、図書館カレンダーや新着資料一覧などをまとめてポータル画面等で確認できること	○		
			66	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること	○		
			67	延滞ペナルティ (予約・貸出制限) 期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること	○		
			68	利用者が現在借りている資料が一目で確認できること	○		
			69	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること	○		
			70	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること	○		
			71	督促された貸出中資料は延長を制限できること	○		
			72	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること	○		
			73	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること	○		
			74	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	○		
			75	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること	○		
			76	督促された貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	○		
			77	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一目で確認できること	○		
			78	利用者が予約確保されている資料を予約解除するものを解除せずに予約確保状態のみ解除すること (利用者が確保期間中に図書館へ訪問できない都合がある場合を想定)	○		
			79	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること また、予約確保されている資料が一覧の上に表示できること	○		

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
			80	利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること	○					
			81	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	○					
			82	利用者が予約中のリクエスト資料については取消ができないようにすること	○					
			83	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している詳細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること	○					
			84	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること	○					
			85	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルをクリックで書誌詳細画面へ遷移できること	○					
			86	貸出中資料の延長は任意の1点または複数冊を選択して行えること	○					
			87	お知らせ・貸出中一覧・予約中一覧(未確保/確保済み)・新着資料一覧・図書館カレンダーを同一画面上に表示でき、各表示領域は利用者自身が配置を変えて使うことができること	○					
			88	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること	○					
			89	取消された予約資料が一覧で確認できること	○					
			90	利用照会画面に利用者番号のバーコード表示ができること	○					
			雑誌一覧表示	91	雑誌の一覧表示機能があること	○				
				92	刊行頻度を表示可能であること	○				
				93	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること	○				
				94	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	○				
				95	雑誌一覧から非表示とする雑誌タイトルを任意で設定できること	○				
			利用者登録情報変更	96	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えること また、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-Mail変更を確定できること	○				
				97	WebOPACから利用者自身が利用者登録を行うことができること	○				
				98	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること	○				
				99	予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること	○				
				100	予約時の連絡方法の初期値を登録することができること	○				
			利用者機能	101	返却お知らせメールの受信選択が登録できること	○				
				102	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること	○				
				103	予約カートは追加、削除を可能とすること	○				
				104	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること	○				
				105	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること	○				
				106	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること	○				
				107	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	○				
				108	利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること	○				
				109	利用者認証時に、特定の利用者コメント(忘れ物があります、取り置き資料あり等)を通知できること	○				
				お知らせ	110	図書館カレンダー情報を館内にカレンダー形式で表示できると(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)	○			
			111		新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	○				
			112		新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること	○				
			113		お知らせ表示機能があること	○				
			114		図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること	○				
			115		利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日近間の利用者に対しメッセージを表示できること	○				
			116		子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること	○				
			117		資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること	○				
			118		資料詳細画面にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること	○				
			119		資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること	○				
			統計処理	120	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	○				
				121	WebOPACのアクセス統計がとれること	○				
				122	WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること	○				
				123	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること	○				
				124	アクセスログを端末種類(PC/スマートフォン等)で分類して集計出力することができること	○				
			外部サイト連携	125	外部サイトと連携し、書影が表示できること	○				
				126	書影はGoogleBooks及びAmazonサイト両社から選択可能なこと	○				
				127	WebOPACの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること	○				
				128	外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、7net、e-hon、プロクログ、カールル、WebCatPlus、Amazon書評、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応でき、リンクの表示/非表示はそれぞれ選択できること	○				
			スマホ蔵書検索システム	全般	1	スマートフォン(iOSおよびAndroid)のブラウザに最適化された画面で、蔵書検索が可能なこと	○			
					2	Webサーバー上に公開データベースを持ち、検索ができること	○			
					2	スマートフォン向けに蔵書公開が可能なこと(フリーワード検索、貸出ベスト・予約ベストの表示が可能なこと)	○			
					検索	3	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること	○		
						3	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること画面の両方があること	○		
						4	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりANDによる複合検索ができること	○		
						4	資料種別(図書・雑誌・AV(CD・ビデオ・DVD等))または全資料より選択して検索できること	○		
						5	詳細検索では、キーワード、著者名、所蔵館、所在館、資料区分、資料種別、出版年月による範囲指定が可能なこと(フリーワード全文検索機能を有すること)	○		
						6	検索一覧結果として、以下の項目(タイトル、サブタイトル、著者名、出版者、出版年等)を表示できること	○		
						7	検索一覧結果として、資料状態(貸出可能、他館貸出可能、貸出中、発注中、貸出禁止等)がひとめでわかること	○		
						8	一覧表示数は1頁に10件を標準とし、1000件まで選択可能なこと	○		
						9	詳細表示として以下の項目(タイトル、サブタイトル、著者名、出版者、出版年、ISBN、内容紹介、蔵書数、予約数、貸出可能数、貸出数、蔵書館名、蔵書場所(請求記号)、蔵書種別、蔵書状態等)を表示できること	○		
						10	検索条件入力画面でソート条件(タイトル順、著者名順、出版年順、分類順)を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること	○		
				11	検索対象とする館を選択した上で検索できること	○				
				12	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること	○				
				画面構成・表示	13	資料データの状態(貸出状態、予約状態、資料状態)は業務サーバーと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること	○			
					14	詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること	○			
					15	発注中の資料をスマートフォンOPACで公開でき、検索/予約の対象にできること	○			
					16	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること	○			
					17	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること	○			
					18	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の2パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する	○			
					予約	19	予約システムを提供し、図書館システムとシームレスな連携が可能なこと (予約データはリアルタイムに業務サーバーに反映されること)	○		
						20	予約カート方式であること	○		
						21	予約上限チェック(OPAC+図書館基本システム)が可能なこと	○		
						22	スマートフォンブラウザにてブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること	○		
						23	予約などの認証時にしよするパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること	○		
						24	予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者身に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること	○		
						25	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること	○		
						26	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること	○		
			27			予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること	○			
			セット予約			28	予約の割当に優先順位を、利用者が簡易な操作で指定できること	○		
				29		予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	○			

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入		
		お気に入り登録	30	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと	○				
		パスワード登録	31	スマートフォンOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと	○				
			32	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証すること	○				
			33	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること	○				
		利用状況照会	34	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること	○				
			35	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る)	○				
			36	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること	○				
			37	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	○				
			38	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること	○				
			39	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること	○				
			40	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること	○				
		雑誌一覧表示	41	雑誌の一覧表示機能があること	○				
			42	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること	○				
			43	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	○				
		利用者登録情報変更	44	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えることまた、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること	○				
			利用者機能	45	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること	○			
		46		予約カートは追加、削除を可能とすること	○				
		47		予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること	○				
		48		資料検索結果の第一画面の検索結果一覧にて、資料が貸出可能かどうか、禁退出等の情報をアイコンと文字で表示すること	○				
		49		図書館資料情報表示内に、Amazon等と連携し、書誌表紙画像などを表示できること	○				
		50		利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	○				
		お知らせ		51	図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)	○			
				52	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	○			
				53	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること	○			
				54	お知らせ表示機能があること図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること	○			
			55	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること	○				
			56	資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること	○				
			57	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること	○				
			58	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	○				
		統計処理	59	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	○				
			60	スマートフォンOPACのアクセス統計がとれること	○				
		外部サイト連携	61	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること	○				
			62	外部サイトと連携し、書影が表示できること	○				
			63	書影はGoogleBooks及びAmazonサイトから選択可能な事	○				
			64	WebOpacの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること	○				
			65	外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、JUNKU D.O.、ブログ、カールル、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応すること	○				
		帳票・統計	帳票全般	1	随時作成でき、日報、月報、年報はリアルタイムに処理可能であること また、日報は当日中に出力できること	○			
		帳票	2	各種統計帳票については、対象となる統計帳票、抽出条件、実行サイクルを設定する等により、印刷データを自動作成することができること 自動作成した印刷データは任意に参照でき、印刷することができること	○				
		帳票	3	基本的にA4サイズで統一していること	○				
		帳票	4	抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと	○				
		帳票	5	印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること また、利用者リストなど、大量(30,000件以上)のリスト出力を可能とすること	○				
		帳票	6	基本的に罫線付きであること	○				
		帳票	7	プレビュー機能で画面で確認できること	○				
		帳票	8	以下の帳票等が印字できること	○				
		帳票	貸出票	○					
		帳票	貸出資料一覧	○					
		帳票	予約者連絡表(返却)	○					
		帳票	利用者リスト	○					
		帳票	多重登録利用者リスト	○					
		帳票	団体利用者リスト	○					
		帳票	未利用利用者リスト	○					
		帳票	督促リスト	○					
		帳票	督促はがき	○					
		帳票	督促連絡依頼票	○					
		帳票	長期延滞資料リスト	○					
		帳票	資料検索結果図書一覧	○					
		帳票	資料検索結果図書目録	○					
		帳票	新刊選書リスト	○					
		帳票	発注済新刊選書リスト	○					
		帳票	注文リスト	○					
		帳票	雑誌受入れ予定リスト	○					
		帳票	受入れリスト	○					
		帳票	未納品リスト	○					
		帳票	新着資料リスト	○					
		帳票	新刊リスト	○					
帳票	雑誌受入れリスト	○							
帳票	予算執行状況リスト	○							
帳票	発注金額集計リスト	○							
帳票	受入れ金額集計リスト	○							
帳票	図書書名目録	○							
帳票	図書著者名目録	○							
帳票	図書分類目録	○							
帳票	図書件名目録	○							
帳票	雑誌タイトルリスト	○							
帳票	AVタイトル順目録	○							
帳票	AV人名順目録	○							
帳票	AV分類目録	○							
帳票	AV件名目録	○							
帳票	人名典拠リスト	○							
帳票	出版者典拠リスト	○							
帳票	件名典拠リスト	○							
帳票	図書原簿	○							
帳票	除籍予定リスト	○							
帳票	雑誌一括除籍予定リスト	○							
帳票	除籍リスト	○							
帳票	除籍原簿	○							
帳票	未利用資料リスト	○							
帳票	蔵書点検エラーリスト	○							
帳票	蔵書点検もれリスト	○							
帳票	不明資料リスト	○							
帳票	利用統計日報	○							
帳票	利用統計月報	○							
帳票	利用統計年報	○							
帳票	相互貸借月報	○							

3. システム機能要件 (基本)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙1>

優先順位: 必須○ 希望△

対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入
				相互貸借年報	○		
				曜日別利用統計年報	○		
				地区別利用登録者集計	○		
				地区別利用冊数	○		
				団体貸出年報	○		
				雑誌別貸出冊数集計	○		
				蔵書統計年報	○		
				受払年報	○		
				自由帳票では帳票の集計条件指定・改ページ条件指定や帳票出力項目の出力行・出力列指定ができること また指定した条件を保存し、再度同じ条件で帳票作成することができること	○		
				ベストリーダー	○		
				予約ベスト	○		
				AV利用状況リスト	○		
				雑誌別予約件数集計	○		
				貸出予約状況年報	○		
				広域利用統計	○		
				資料回送統計	○		
				蔵書点検発見資料リスト	○		
				分類別蔵書冊数集計	○		
				保管場所別蔵書冊数集計	○		
				特殊貸出統計	○		
				再発行利用者リスト	○		
				除籍利用者リスト	○		
				寄贈資料リスト	○		
				雑誌JANコードリスト	○		
				蔵書場所別種別統計	○		
				移動統計年報	○		
				移動統計月報	○		
				移動統計日報	○		
				地区別予約件数集計	○		
				予約在庫リスト	○		
				請求記号別貸出冊数集計	○		
				請求記号別予約冊数集計	○		
				地区別パスワード登録集計	○		
				時間帯別利用統計	○		
				公共図書館調査票	○		
				コメント別利用者リスト	○		
				受取館別予約統計	○		
				雑誌タイトル別貸出ベスト	○		
				雑誌タイトル別統計	○		

4. システム機能要件（電子ファイリングシステム）

優先順位：必須○ 希望△
 対応区分：可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	項目番号	要求機能	優先順位	対応区分	対応△×の場合は代替案記入
セキュリティ・アクセス権限	ログインパスワード認証	1	ログイン画面で利用者ID（名前）、パスワードによる認証ができること	○		
	保管庫に対するアクセス権限	2	保管庫利用権の設定ができること	○		
	フォルダに対するアクセス権限	3	トップフォルダ作成権/フォルダ参照権/フォルダアクセス権/文書新規登録権の設定ができること	○		
	文書に対するアクセス権限	4	文書参照権/文書更新権の設定ができること	○		
	アクセス権限指定方法	5	個人指定/グループ指定/組織+役職の組み合わせ指定が可能なこと	○		
操作権限種別	管理ツール利用権	6	管理者サイト（ログ参照の設定ができることまた/マスク設定/タブ設定/タグ設定/システム設定）を利用する権限の設定ができること	○		
	利用者公開権限	7	ログインを許可する権限、運用中に一時的に利用を中止させることも可能なこと	○		
	保管庫利用権限	8	保管庫を公開する権限（管理者のみ公開/利用者にも公開/休止から選択可能なこと）	○		
	トップフォルダ作成権限	9	その保管庫にトップフォルダを作成できる権限の設定ができること	○		
	フォルダ参照権限	10	そのフォルダを参照できる権限の設定ができること	○		
	フォルダアクセス権限	11	そのフォルダ配下にフォルダを作成できる権限の設定ができること	○		
	フォルダ更新権限	12	そのフォルダを更新、削除できる権限の設定ができること	○		
	文書新規登録権限	12	そのフォルダに新規で文書を登録できる権限の設定ができること	○		
	文書参照権限	13	その文書を参照できる権限の設定ができること	○		
	文書更新権限	14	その文書を更新/削除/添付ファイルのダウンロードができる権限の設定ができること	○		
ログ	操作ログの保存	15	利用者サイトでの操作ログ（端末、利用者、時間、機能）を記録の設定ができること	○		
	操作ログの参照	16	期間指定、簡易検索で目的別に絞り込んだ表示できることが可能なこと	○		
	ログのCSV出力	17	参照中のログをCSVで保存が可能なこと	○		
保管庫管理	保管庫数	18	上限なしであること（ただしサーバー容量による）	○		
	保管庫の編集	19	運用途中での属性・アクセス権の追加変更可能なこと	○		
	保管庫の削除	20	保管庫の削除ができること	○		
	保管庫テンプレート流用	21	既存保管庫の属性、フォルダ構造をひな形として流用作成が可能なこと	○		
	登録文書数の上限	22	論理上99,999,999ファイルまで、物理上ストレージ領域サイズまで	○		
フォルダ管理	フォルダ数	23	上限なしであること（ただしサーバー容量による）	○		
	フォルダ深さ	24	上限なしであること（ただしサーバー容量による）	○		
	フォルダ名変更	25	フォルダ名の変更ができること	○		
	フォルダ削除	26	フォルダの削除ができること	○		
	フォルダの表示できること順変更	27	保管庫の表示できること順変更は管理機能で、フォルダの並び替えは本体機能で可能なこと	○		
利用者情報（管理機能）	利用者登録・変更	28	利用者ID・名称・パスワードの登録ができること	○		
	利用者情報変更	29	利用者情報の変更ができること	○		
	CSVファイルによる一括登録（更新）	30	CSVファイルで利用者書とグループの一括設定が可能なこと	○		
利用者情報（利用者機能）	利用者情報変更	31	ログイン利用者が自身のパスワードを変更可（変更許可/不許可の設定可）が可能なこと	○		
文書の登録	属性と添付ファイルの対話登録	32	1文書に添付できるファイル上限数999であること	○		
	属性情報のみ文書（添付無し文書）	33	登録可能であること	○		
	スキャナ連携	34	スキャナ連携して登録できること	○		
	添付ファイルのドラッグ&ドロップ指定	35	※HTML5対応ブラウザで動作すること	○		
自動登録・バッチ登録	Windowsフォルダ配下のデータを一括登録	36	※フォルダ登録ツールオプションにて可能なこと	○		
属性	システム属性	37	登録日、登録者、更新日、更新者など検索に使える13項目が自動で設定できること	○		
	ユーザ属性数	38	文字型、数値型、日付型の3タイプの中から最大25個まで設定可能なこと	○		
	ファイル名からの自動取得	39	システム属性「文書タイトル」に添付ファイルの名称の取得指定が可能なこと	○		
	属性データ編集	40	更新・改版画面で編集が可能なこと	○		
	属性のCSV出力	41	検索結果の内容をCSVファイルで出力が可能なこと	○		
	属性バッチ登録（更新）	42	CSVで編集した内容で属性の更新が可能なこと	○		
	属性項目の表示できること順設定	43	検索に使用する「タブ」単位に表示できること対象属性と表示できること順を設定可能なこと	○		
	公開開始日設定	44	文書ライフサイクル用の日付設定ができること	○		
	公開終了日設定	45	文書ライフサイクル用の日付設定ができること	○		
	保存終了日設定	46	文書ライフサイクル用の日付設定ができること	○		
文書の更新／改版	文書削除	47	複数文書まとめて削除も可能なこと	○		
	ファイル追加・差し替え	48	更新・改版時に添付ファイルの追加・差し替えが可能なこと	○		
	文書移動	49	複数文書まとめて移動も可能なこと	○		
文書の改版履歴	終了管理	50	保存終了日を迎えると文書を自動で論理削除できること	○		
	版管理	51	改版時設定した履歴情報と添付ファイルの旧版を保持、改版履歴よりダウンロードも可能なこと	○		
	改版履歴を保持	52	改版日、改版理由、改版内容等、旧版添付ファイル等改版履歴を保持できること	○		
	旧版データへのアクセス	53	参照権限以上でアクセス可能なこと	○		
	チェックアウトメッセージ表示できること	54	改版・更新実行中利用者名が表示できること	○		
文書の検索	改版時の版数管理	55	改版時版数を上げる/上げないの運用選択が可能なこと	○		
	フォルダ直下検索/配下検索	56	エキスポーラライクに目的のフォルダを指定して検索が可能なこと	○		
	属性条件検索	57	複数の検索条件項目をAND/OR指定して検索が可能なこと	○		
	タブ検索	58	検索条件画面を開きそこから検索または、固定条件で即時検索が可能なこと	○		
	タグ検索	59	文書登録時に選択した「タグ（付箋）」で検索が可能なこと	○		
	キーワード検索	60	全キーワード（ユーザ属性）を対象にした文字列検索が可能なこと	○		
	保管庫・階層を指定しての検索も可能なこと	61	条件検索で全保管庫対象に指定可能なこと	○		
	全文検索	62	※システムに全文検索オプションを備えていること。	○		
	一覧表示できること	63	ヒットした文書の属性情報、サムネイル、添付ファイルの情報を表示できること	○		
	検索結果のソート	64	一覧表内の並び替えが可能なこと	○		
添付ファイル	添付ファイルの印刷	65	ダウンロード後にAP起動して印刷できること	○		
	参照・編集・印刷	66	端末にインストールされているアプリを起動できること ※CI登録ツールの場合、イメージデータはツール内で参照・印刷が可能なこと	○		
登録ファイルの出力	添付ファイルのダウンロード	67	複数文書の添付ファイルをまとめてダウンロードも可能なこと	○		
	イメージまとめて表示できること	68	1文書に複数のイメージファイルが添付されているとき、マルチTiffファイルをして1ファイルでダウンロード可能なこと	○		

5. システム機能要件 (ハードウェア)

優先順位: 必須△ 希望△
対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先順位	対応区分	対応△×の場合は代替案記入
ハードウェア	サーバー	ホストサーバー	1	導入する図書館システムはオンプレミス型とする 図書館システムを稼働させるサーバーは周南市役所サーバー室へ設置する 徳山駅前館が365日稼働するため、サーバーは複数台による冗長構成とし、ダウンタイムを最小限となるようにすること	○		
			2	各サーバーは提案する図書館システムが問題なく稼働するスペックを選定すること 提案する図書館システムの各サーバー容量を考慮しサイジングすること	○		
			3	バックアップは最低週1回のフルバックアップを取得できるよう構築すること バックアップのエラー監視は毎週実施し、エラーが発生した場合は逐次対応を行うこと バックアップイメージからの復元テストは必須で実施すること	○		
			4	サーバー用ウイルス対策ソフトウェアを導入すること	○		
			5	無停電電源装置を導入し、商用電源消失時の対策を行うこと	○		
			6	導入するバックアップNASは無停電電源装置と電源管理連携が行えること	○		
			7	KVMコンソール、KVMスイッチを導入すること	○		
			8	導入するサーバー機器は24時間365日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			9	周南市役所サーバー室へ19インチラック搭載、設置すること 必要場合は、19インチラックを本費用に含めること	○		
			10	サーバーに必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については周南市役所サーバー室内のものを利用できるものとする	○		
アプリケーションサーバー 及びデータベースサーバー			1	提案する図書館システムが稼働できるようアプリケーションサーバー及びデータベースサーバーを構築すること また周南市の蔵書数増加や貸出・返却等の業務を速やかに行ううえで、十分な性能を確保したものとすること	○		
			2	アプリケーションサーバー及びデータベースサーバーは徳山駅前館が365日、23時頃まで業務があることから、23時以降でバックアップを取得すること バックアップは最低週1回のフルバックアップ、その他の曜日は差分バックアップを取得できるよう構築すること バックアップのエラー監視は日々実施し、エラーが発生した場合は逐次対応を行うこと バックアップイメージからの復元テストは必須で実施すること	○		
			3	サーバー用ウイルス対策ソフトウェアを導入すること	○		
			4	アプリケーションサーバーは民間事業者の発行した独自のカード認証を逐次行っている 日に数度（日中、深夜帯を含む）、データ交換を行っている データ連携、データ交換ができる仕組みを導入すること	○		
Webサーバー及び WebOPACサーバー			1	提案する図書館システムが稼働できるようWebサーバー及びWebOPACサーバーを構築すること また利用者がWeb検索、蔵書検索、予約申込、読書推進機能の利用、予約割当メール送信等を行ううえで、十分な性能を確保したものとすること	○		
			2	WebサーバーはCMSコンテンツを導入し公開できるよう構築すること	○		
			3	WebサーバーにはDNSサーバー、メールサーバーを稼働させること	○		
			4	WebサーバーにはSSL証明書を採用すること また毎年SSL証明書については更新手続きを行い適用することも本業務に含まれる	○		
			5	Webサーバーは外部公開するため不要なサービスは停止しておくこと	○		
			6	WebサーバーはDMZ領域で稼働させること	○		
			7	Webサーバーは365日、24時間稼働することから、バックアップ取得は深夜帯にバックアップを取得すること バックアップは最低週1回のフルバックアップ、その他の曜日は差分バックアップを取得できるよう構築すること バックアップのエラー監視は日々実施し、エラーが発生した場合は逐次対応を行うこと バックアップイメージからの復元テストは必須で実施すること	○		
			8	サーバー用ウイルス対策ソフトウェアを導入すること	○		
			9	徳山駅前図書館指定管理者側WebサーバーからWebOPAC連携ができるよう、API機能を構築すること	○		
			10	Webサーバーの死活監視を行うこと	○		
ADサーバー			1	図書館端末はActiveDirectoryによる管理を行っている 現行同様にActiveDirectoryを導入し、共有フォルダ等のアクセス権を設定すること Windows Server Update Services (WSUS) による制御を行うこと	○		
			2	図書館端末は指定された端末以外、外部接続できないようにしている Proxyを導入し外部接続できる端末を管理すること	○		
			3	ADサーバーには共有フォルダを作成し、既存サーバーから共有データの移行を行うこと	○		
			4	サーバー用ウイルス対策ソフトウェアを導入すること	○		
			5	各端末のウイルス対策ソフトウェアを管理する機能を導入すること	○		
			6	各端末がインターネットへ接続できないことから、ADサーバーにウイルス対策ソフトの配信機能を準備すること	○		
			7	ADサーバーは徳山駅前館が365日、23時頃まで業務があることから、23時以降でバックアップを取得すること バックアップは最低週1回のフルバックアップ、その他の曜日は差分バックアップを取得できるよう構築すること バックアップのエラー監視は日々実施し、エラーが発生した場合は逐次対応を行うこと バックアップイメージからの復元テストは必須で実施すること	○		
電子ファイリング			1	提案する電子ファイリングシステムが稼働できるよう構築すること	○		
			2	既存の電子ファイリングシステム (QuickBinder) から全てのデータを漏れなく移行すること	○		
			3	サーバー用ウイルス対策ソフトウェアを導入すること	○		
			4	電子ファイリングシステムのバックアップ取得は深夜帯にバックアップを取得すること バックアップは最低週1回のフルバックアップ、その他の曜日は差分バックアップを取得できるよう構築すること バックアップのエラー監視は日々実施し、エラーが発生した場合は逐次対応を行うこと バックアップイメージからの復元テストは必須で実施すること	○		
バックアップNAS			1	バックアップNASは提案する図書館システムの各サーバー容量を考慮しサイジングすること	○		
			2	周南市役所サーバー室へ19インチラック搭載、設置すること	○		
			3	無停電電源装置を導入し、商用電源消失時の対策を行うこと	○		
			4	導入するバックアップNASは無停電電源装置と電源管理連携が行えること	○		
			5	導入するバックアップNASで障害が発生した場合、アラート通知の送信設定を行うこと アラート通知は提案者及び図書館へ送信できるようにし、予防対策も含め提案者で対応で対応すること	○		
			6	導入するバックアップNASはランサムウェア対策を講じたものを導入すること	○		
			7	導入するバックアップNASは5年間のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
端末	業務端末 (デスクトップ)		1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること CPU: Intel Core i5、メモリ: 8GB、ストレージ: 128GB SSD、光学ドライブ: DVD-ROM、LAN: 有線LAN、OS: Windows 11 Professional、液晶ディスプレイ: 21.5インチ (1920x1080) 以上 その他: USBキーボード (テンキー付き)、USB光学式マウス	○		
			2	導入する端末台数は次のとおり 中央館: 10台、新南陽館: 4台、福川館: 1台、熊毛館: 2台、鹿野館: 2台、徳山駅前館: 4台 合計: 23台	○		
			3	導入する端末にはMicrosoft Office Standard以上を導入すること うち中央館事務室に設置する1台の業務端末にはMicrosoft Office Professionalを導入し、中央館で利用している 督促印刷を行うためのAccessプログラムを移行、利用できるようにすること 尚、督促印刷を行うためのドットインパクトプリンターの位置調整も本作業内に含む	○		
			4	中央館2階カウンターの端末は電子ファイリングシステム登録用を兼ねている 電子ファイリングシステムクライアントを導入し稼働できるようにすること また登録に必要な取り込み用機器 (スキャナー) を接続、設定すること	○		
			5	導入する端末は指定した端末以外はインターネット接続はしないこと ADサーバーによる制御を行うこと	○		
			6	導入する端末にはウイルス対策ソフトウェアを導入すること 但し、端末すべてがインターネット接続しないため、内部の配信サーバーを利用できる設定とすること	○		
			7	指定した端末にレシートプリンターを接続、設定すること	○		
			8	導入する端末にCCD方式ハンディスキャナ (バーコードリーダー) を接続、設定すること	○		
			9	指定した端末に民間事業者が発行した独自のカード利用者認証用のカードリーダーを接続、設定すること	○		
			10	指定した端末にハンディターミナル (POT) 及び通信機器の接続、設定すること	○		
			11	徳山駅前館に導入する端末はA4対応ICリーダーライター機器を接続、設定すること	○		
			12	徳山駅前館に導入する端末はICハンディターミナルの設定及び通信機器の接続、設定をすること	○		
			13	導入する端末及びディスプレイは5年間の週7日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			14	導入するレシートプリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			15	導入するIC機器は5年間の先出せンドバック保守サービスが受けられること	○		
			16	導入するウイルス対策ソフトウェアは5年間のライセンス更新費用を含むこと	○		

5. システム機能要件 (ハードウェア)

優先順位: 必須○ 希望△
対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先順位	対応区分	対応△×の場合は代替案記入
			17	その他、再セットアップ媒体の準備、システム構築後のイメージを保管し障害時に復旧対応できること CCD方式ハンディスキャナ、民間事業者が発行した独自カードの利用者認証用カードリーダーは交換機を準備しておくこと	○		
	業務端末 (ノート)		1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること CPU: Intel Core i5、メモリ: 8GB、ストレージ: 128GB SSD、光学ドライブ: DVD-ROM、LAN: 有線LAN及び無線LAN (Wi-Fi6対応)、OS: Windows 11 Professional、液晶ディスプレイ: 15.6インチ (1920x1080) 以上 その他: キーボード (テンキー付き)、USB光学式マウス、Webカメラ	○		
			2	導入する端末台数は次のとおり 中央館: 3台、新南陽館: 3台、熊毛館: 1台、鹿野館: 1台、徳山駅前館: 4台 合計: 12台	○		
			3	導入する端末にはMicrosoft Office Standard以上を導入すること	○		
			4	導入する端末は指定した端末以外はインターネット接続はしないこと ADサーバーによる制御を行うこと	○		
			5	導入する端末にはウイルス対策ソフトウェアを導入すること 但し、端末すべてがインターネット接続しないため、内部の配信サーバーを利用できる設定とすること	○		
			6	徳山駅前館の端末は外部持出、外部からモバイルWi-FiでVPN接続でき、オンラインで図書館システムが利用できる設定とすること	○		
			7	指定した端末にレシートプリンターを接続、設定すること	○		
			8	導入する端末にCCD方式ハンディスキャナ (バーコードリーダー) を接続、設定すること	○		
			9	指定した端末に民間事業者が発行した独自カードの利用者認証用のカードリーダーを接続、設定すること	○		
			10	指定した端末にハンディターミナル (POT) 及び通信機器の接続、設定すること	○		
			11	徳山駅前館に導入する端末はICリーダライタ機器を接続、設定すること	○		
			12	徳山駅前館に導入する端末はICハンディターミナルの設定及び通信機器の接続、設定とすること	○		
			13	導入する端末及びディスプレイは5年間の週7日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			14	導入するレシートプリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			15	導入するIC機器は5年間の先出せンドバック保守サービスが受けられること	○		
			16	導入するウイルス対策ソフトウェアは5年間のライセンス更新費用を含むこと	○		
			17	その他、再セットアップ媒体の準備、システム構築後のイメージを保管し障害時に復旧対応できること ノート端末は持出することを想定し、二段階認証ができるよう設定すること CCD方式ハンディスキャナ、民間事業者が発行した独自カードの利用者認証用カードリーダーは交換機を準備しておくこと	○		
	OPAC端末 (デスクトップ)		1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること CPU: Intel Core i3、メモリ: 8GB、ストレージ: 128GB SSD、光学ドライブ: DVD-ROM、LAN: 有線LAN、OS: Windows 11 Professional 以上 その他: USBキーボード (テンキー付き)、USB光学式マウス	○		
			2	OPAC端末用に17インチタッチディスプレイを導入すること タッチディスプレイは各館に設置している木製専用筐体に組込できること	○		
			3	導入する端末台数は次のとおり 中央館: 6台、新南陽館: 3台、福川館: 1台、熊毛館: 2台、鹿野館: 2台 合計: 14台	○		
			4	導入する端末はインターネット接続はしないこと ADサーバーによる制御を行うこと	○		
			5	導入する端末にはウイルス対策ソフトウェアを導入すること 但し、端末すべてがインターネット接続しないため、内部の配信サーバーを利用できる設定とすること	○		
			6	導入する端末は一般利用者が使用することから、端末制御ソフトウェアを導入し、不正操作が行えないようにすること	○		
			7	導入する端末は5年間の週7日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			8	導入するディスプレイは5年間のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			9	導入するウイルス対策ソフトウェアは5年間のライセンス更新費用を含むこと	○		
			10	その他、再セットアップ媒体の準備、システム構築後のイメージを保管し障害時に復旧対応できること	○		
	移動図書館端末 (ノート)		1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること CPU: Intel Core i5、メモリ: 8GB、ストレージ: 128GB SSD、光学ドライブ: DVD-ROM、LAN: 有線LAN及び無線LAN (Wi-Fi6対応)、OS: Windows 11 Professional、液晶ディスプレイ: 15.6インチ (1920x1080) 以上 その他: キーボード (テンキー付き)、USB光学式マウス、Webカメラ	○		
			2	導入する端末台数は次のとおり 中央館: 1台	○		
			3	導入する端末にはMicrosoft Office Standard以上を導入すること	○		
			4	導入する端末はインターネット接続ができること ADサーバーによる制御を行うこと	○		
			5	導入する端末にはウイルス対策ソフトウェアを導入すること 但し、端末すべてがインターネット接続しないため、内部の配信サーバーを利用できる設定とすること	○		
			6	移動図書館の端末は外部持出、外部からモバイルWi-FiでVPN接続でき、オンラインで図書館システムが利用できる設定とすること	○		
			7	指定した端末にレシートプリンターを接続、設定すること	○		
			8	導入する端末にCCD方式ハンディスキャナ (バーコードリーダー) を接続、設定すること	○		
			9	指定した端末に民間事業者が発行した独自カードの利用者認証用のカードリーダーを接続、設定すること	○		
			10	導入する端末は5年間の週7日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			11	導入するレシートプリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			12	導入するウイルス対策ソフトウェアは5年間のライセンス更新費用を含むこと	○		
			13	その他、再セットアップ媒体の準備、システム構築後のイメージを保管し障害時に復旧対応できること ノート端末は持出することを想定し、二段階認証ができるよう設定すること CCD方式ハンディスキャナ、民間事業者が発行した独自カードの利用者認証用のカードリーダーは交換機を準備しておくこと	○		
	利用者インターネット端末 (デスクトップ)		1	提案するアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること CPU: Intel Core i3、メモリ: 8GB、ストレージ: 128GB SSD、光学ドライブ: DVD-ROM、LAN: 有線LAN、OS: Windows 11 Professional、液晶ディスプレイ: 21.5インチ (1920x1080) 以上 その他: USBキーボード (テンキー付き)、USB光学式マウス	○		
			2	導入する端末台数は次のとおり 中央館: 3台、新南陽館: 2台、熊毛館: 4台、鹿野館: 1台 合計: 10台	○		
			3	導入する端末にはウイルス対策ソフトウェアを導入すること 但し、利用者インターネット端末は図書館業務ネットワークとは分離されているため、独自にプログラム、パターンファイルを更新できること	○		
			4	導入する端末は一般利用者が使用することから、端末制御ソフトウェアを導入し、不正操作が行えないようにすること	○		
			5	導入する端末は一般利用者が使用することから、環境復元ソフトウェアを導入し、再起動することで元の環境に戻るよう設定すること Windows Update連携、ウイルス対策ソフトウェア連携することで、最新のセキュリティ対策を講じることが可能なこと	○		
			6	導入する端末は一般利用者が使用することから、Webフィルタリングソフトウェアを導入し、カテゴリーフィルタリング等で不正サイトへアクセスできないよう設定すること フィルタリングの内容については図書館側と協議すること	○		
			7	導入する端末及びディスプレイは5年間の週7日のオンサイト保守サービスが受けられること	○		
			8	環境復元ソフトウェアはマイクロソフトのWindowsバージョンアップに対応するため、5年間の保守サポートが受けられること	○		
			9	Webフィルタリングソフトウェアは最新のシグネチャーに対応するため、5年間の保守サポートが受けられること	○		
			10	導入するウイルス対策ソフトウェアは5年間のライセンス更新費用を含むこと	○		
			11	その他、再セットアップ媒体の準備、システム構築後のイメージを保管し障害時に復旧対応できること	○		
	自動貸出機端末 (デスクトップ)		1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること CPU: Intel Core i5、メモリ: 8GB、ストレージ: 128GB SSD、光学ドライブ: DVD-ROM、LAN: 有線LAN、OS: Windows 11 Professional 以上 その他: USBキーボード (テンキー付き)、USB光学式マウス	○		
			2	OPAC端末用に17インチタッチディスプレイを導入すること タッチディスプレイは徳山駅前館に設置している備え付け専用筐体に組込できること	○		

5. システム機能要件 (ハードウェア)

優先順位: 必須○ 希望△
対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先順位	対応区分	対応△×の場合は代替案記入			
			3	導入する端末台数は次のとおり 徳山駅前館：3台	○					
			4	導入する端末はインターネット接続はしないこと ADサーバーによる制御を行うこと	○					
			5	導入する端末にはウイルス対策ソフトウェアを導入すること 但し、端末すべてがインターネット接続しないため、内部の配信サーバーを利用できる設定とすること	○					
			6	導入する端末にレシートプリンターを接続、設定すること	○					
			7	導入する端末に自立型レーザー方式ハンディスキャナ (バーコードリーダー) を接続、設定すること	○					
			8	導入する端末に民間事業者が発行した独自カードの利用者認証用のカードリーダーを接続、設定すること	○					
			9	導入する端末に高精度のA3自動貸出機対応ICリーダーライター機器を接続、設定すること	○					
			10	導入する端末は5年間の週7日オンサイト保守サービスが受けられること	○					
			11	導入するディスプレイは5年間のオンサイト保守サービスが受けられること	○					
			12	導入するレシートプリンターは5年間の週5日オンサイト保守サービスが受けられること	○					
			13	導入するIC機器は5年間の先出センダバック保守サービスが受けられること	○					
			14	導入するウイルス対策ソフトウェアは5年間のライセンス更新費用を含むこと	○					
			15	その他、再セットアップ媒体の準備、システム構築後のイメージを保管し障害時に復旧対応できること 自立型レーザー方式ハンディスキャナ、民間事業者が発行した独自カードの利用者認証用カードリーダーは交換機を準備しておくこと	○					
				ICゲート管理端末		1	提案する図書館システムと連動するゲート管理システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること	○		
						2	導入する端末台数は次のとおり 徳山駅前館：1式 (ICゲート11台が管理可能な必要台数を導入すること)	○		
	OPACタブレット (iPad)		3	ICゲートを管理する端末は過去の情報も必要であることから、データのバックアップを日々実施できるよう構築すること	○					
			1	10.9インチのiPad (Wi-Fiモデル) を導入すること 徳山駅前館：7台	○					
			2	iPadからの印刷に対応可能なレシートプリンターを導入すること レシートプリンターは有線LAN接続、Wi-Fi接続に対応できること	○					
			3	導入するiPadは5年間の保証延長ができること	○					
	情報提供用タブレット (iPad/貸出用)		4	導入するiPad用レシートプリンターは5年間の先出センダバック保守ができること	○					
			1	10.9インチのiPad (Wi-Fiモデル) を導入すること 徳山駅前館：5台	○					
	通信機器	UTM・Firewall	2	導入するiPadは5年間の保証延長ができること	○					
			1	WebサーバーをDMZで外部公開することから、セキュリティを考慮しUTM機能付きFirewallを導入すること Firewallは外部からのレスポンスで遅延が発生しない製品を選択すること	○					
			2	ファイアウォール機能に加え、UTM機能としてアンチウイルス、アンチスパム、IPS (不正侵入防御)、Webフィルタリング、アプリケーション制御の各機能を有すること 各機能は必要に応じて適用すること	○					
			3	ADサーバーのProxyとは別にUTM側でも外部接続できる端末、外部接続できない端末をポリシーで制御すること	○					
			4	指定管理者のWebサーバーからの通信を許可する設定を行うこと	○					
			5	外部 (移動図書館等端末) からセキュリティを考慮したVPN通信が行えるよう構築すること	○					
			6	UTM機能としてアンチウイルスを有効化し、多段階ウイルス検知を行うようにすること	○					
			7	UTM機能としてアンチスパムを有効化し、不正メールについては【SPAM】タグを付加すること	○					
			8	UTM機能としてカテゴリフィルター等によるWebフィルタリングを適用すること また図書館の閲覧サイトとして必要なURLについてはホワイトリストすること 尚、フィルタリングするカテゴリ、ホワイトリスト等は図書館と協議、決定し、ホワイトリストで追加が必要になった場合も都度対応すること	○					
			9	Syslogもしくは同等の仕組みを利用しログ保存しておくこと	○					
			10	導入するUTM・Firewall機器は5年間の24時間365日オンサイト保守サービスが受けられること また同様にUTMライセンスについても同様とする	○					
				VPNルーター (周南市役所サーバー室)		11	周南市役所サーバー室の19インチラック搭載、設置すること	○		
12	通信機器に必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については周南市役所サーバー室内のものを利用できるものとする	○								
1	鹿野図書館以外の市役所、各図書館はIPv6通信でVPN網を構築すること	○								
2	鹿野図書館はCATVが提供する光回線を利用、IPsecでVPN網を構築すること	○								
3	新たに構築するVPN網への切替は図書館業務に影響がない時間帯でテスト切替及び本番切替を実施すること	○								
4	Syslogもしくは同等の仕組みを利用しログ保存しておくこと	○								
5	導入するVPNルーター機器は5年間の24時間365日オンサイト保守サービスが受けられること	○								
6	市役所に設置する機器は19インチラックに搭載できること	○								
	VPNルーター (各図書館ルーター)		7	通信機器に必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については周南市役所サーバー室内のものを利用できるものとする	○					
			8	周南市役所サーバー室設置の通信機器は予め予備機等を準備し、障害発生時に切替が行えるような措置を講じておくこと	○					
			1	鹿野図書館以外の各図書館は周南市役所サーバー室とIPv6通信でVPN網を構築すること	○					
			2	鹿野図書館はCATVが提供する光回線を利用、IPsecで周南市役所サーバー室とVPN網を構築すること	○					
			3	新たに構築するVPN網への切替は図書館業務に影響がない時間帯でテスト切替及び本番切替を実施すること	○					
			4	Syslogもしくは同等の仕組みを利用しログ保存しておくこと	○					
			5	導入するVPNルーター機器は5年間の24時間365日オンサイト保守サービスが受けられること	○					
			6	中央館及び徳山駅前館に設置する機器は19インチラックに搭載できること	○					
	L2マネージスイッチ (周南市役所サーバー室)		7	通信機器に必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については周南市役所サーバー室内のものを利用できるものとする	○					
			1	周南市役所サーバー室へ設置するメインスイッチは冗長化 (スタック) しておくこと	○					
			2	必要なポート数を準備しておくこと	○					
			3	必要に応じてVLAN設定を行うこと	○					
			4	ループ検知を含む必要設定を行うこと	○					
			5	Syslogもしくは同等の仕組みを利用しログ保存しておくこと	○					
			6	導入するスイッチ機器は5年間の24時間365日オンサイト保守サービスが受けられること	○					
			7	設置する機器は19インチラックに搭載できること	○					
	民間事業者発行カードポイント認証回線用L2マネージスイッチ (周南市役所サーバー室)		8	通信機器に必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については周南市役所サーバー室内のものを利用できるものとする	○					
			1	周南市役所サーバー室へ設置すること	○					
			2	必要なポート数を準備しておくこと	○					
			3	ループ検知を含む必要設定を行うこと	○					
			4	Syslogもしくは同等の仕組みを利用しログ保存しておくこと	○					
			5	導入するスイッチ機器は5年間の24時間365日オンサイト保守サービスが受けられること	○					
			6	設置する機器は19インチラックに搭載できること	○					
	L2スイッチ (中央館)		7	通信機器に必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については周南市役所サーバー室内のものを利用できるものとする	○					
			1	必要なポート数を準備しておくこと	○					
			2	ループ検知を含む必要設定を行うこと	○					
			3	Syslogもしくは同等の仕組みを利用しログ保存しておくこと	○					
			4	導入するスイッチ機器は24時間365日のオンサイト保守サービスが受けられること	○					
			5	設置する機器は19インチラックに搭載できること	○					
	L2スイッチ (徳山駅前館)		6	通信機器に必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については中央館室内のものを利用できるものとする	○					
			1	徳山駅前館の館内基幹配線 (図書館業務) は光ケーブル (1000Base-SX, MM LC) を仕様している 導入するスイッチも同コネクタで接続できるものを選択すること	○					

優先順位: 必須○ 希望△
対応区分: 可能○ 一部△ 不可×

5. システム機能要件 (ハードウェア)

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先順位	対応区分	対応△×の場合は代替案記入	
			2	徳山駅前館の基幹スイッチは1階バックヤードEPSの19インチラックに設置している 各階へは各々、1階中央PS、2階PS、2階キッズルームPS、3階中央PSへ設置しており、配電盤の木盤へスイッチは設置すること 尚、木盤のスペースが限られていることから、次のサイズ以内の機種を選定すること サイズ：266mm×161mm×43.6mm以内	○			
			3	必要なポート数を準備しておくこと	○			
			4	ループ検知を含む必要設定を行うこと	○			
			5	Syslogもしくは同等の仕組みを利用しログ保存しておくこと	○			
			6	導入するスイッチ機器は24時間365日のオンサイト保守サービスが受けられること	○			
			7	通信機器に必要なLAN配線、電源配線については提案者が実施すること 尚、電源については徳山駅前館内のもので利用できるものとする	○			
			8	徳山駅前館は365日稼働のため、スイッチの交換は22:30から8:00までの間で交換、疎通確認を行うこと 尚、通信テストを実施する場合は、既存環境及びシステムに影響がでないよう実施すること	○			
			L2アンマネージスイッチ (各館用)	1	各館の必要な箇所へL2アンマネージスイッチを導入すること 必要数導入すること	○		
			2	導入するスイッチ機器は5年間の保守サービスが受けられること	○			
			プリンター	A3モノクロレーザープリンター	1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること 印字速度：A4：37頁/分、両面印刷機能：標準（自動）、インターフェース：有線LAN、耐久性：150万頁もしくは5年 オプションとして有線LANを追加できること	○	
2	導入するプリンターにはトレイモジュールを増設し、2段カセットとすること	○						
3	導入するプリンター台数は次のとおり 中央館：1台、新南陽館：1台 合計：2台	○						
4	導入するA3モノクロプリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○						
A4モノクロレーザープリンター	1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること 印字速度：A4：40頁/分、両面印刷機能：標準（自動）、インターフェース：有線LAN/無線LAN、耐久性：30万頁もしくは5年	○					
2	導入するプリンター台数は次のとおり 中央館：4台、新南陽館：2台、福川館：1台、熊毛館：2台、鹿野館：2台 合計：11台	○						
3	導入するA4モノクロプリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○						
A3カラーレーザープリンター	1	提案する図書館システム及びアプリケーションが問題なく稼働するスペックを提案すること 印字速度：A3（カラー/モノクロ）：35頁/分、両面印刷機能：標準（自動）、インターフェース：有線LAN、耐久性：90万頁もしくは5年 オプションとして有線LANを追加できること	○					
2	導入するプリンターにはトレイモジュールを増設し、2段カセットとすること	○						
3	導入するプリンターには専用キャビネットを付属させること	○						
4	導入するプリンター台数は次のとおり 徳山駅前館：1台	○						
5	導入するA3カラープリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○						
ドットインパクトプリンター	1	中央館事務室に設置する1台の業務端末から督促状印刷を行うためドットインパクトプリンターを導入する 最大印字桁数：136時/行、 シートフィーダ、トラクタフィーダ、有線LANが必要なこと	○					
2	導入するプリンター台数は次のとおり 中央館：1台	○						
3	導入するドットインパクトプリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○						
サーマルシートプリンター (USB接続)	1	既存で利用している80mm幅ロール紙を利用できるサーマルプリンターを選定すること 利用者情報、書誌情報、貸出期限等の情報を印字できること バーコード (QRコード含む) を印字できる機種と選定すること	○					
2	導入するプリンター台数は次のとおり 中央館：14台、新南陽館：7台、福川館：1台、熊毛館：3台、鹿野館：3台、徳山駅前館：11台 合計：39台	○						
3	導入するサーマルプリンターは5年間の週5日のオンサイト保守サービスが受けられること	○						
サーマルシートプリンター (Wi-Fi接続)	1	既存で利用している80mm幅ロール紙を利用できるサーマルプリンターを選定すること 利用者情報、書誌情報、貸出期限等の情報を印字できること バーコード (QRコード含む) を印字できる機種と選定すること	○					
2	iPadからWi-Fi経由で印刷が行えること	○						
3	導入するプリンター台数は次のとおり 徳山駅前館：8台 (予備：1台を含む)	○						
4	導入するサーマルプリンターは5年間の先出センドバック保守サービスが受けられること	○						
スキャナー	A3カラースキャナー	1	電子ファイリング用としてA3カラースキャナーを導入すること 郷土新聞、郷土資料等を保存できる仕組みとすること	○				
2	導入するプリンター台数は次のとおり 中央館：1台	○						
3	導入するA3カラースキャナーは5年間のオンサイト保守サービスが受けられること	○						
ハンディスキャナー	ハンディターミナル (POT)	1	中央館でキーエンス製ハンディターミナル (BT-600) を3台使用している 所有しているハンディターミナルが提案する図書館システムで使用できること	○				
2	新たにハンディターミナルを導入すること ハンディターミナル (大容量充電電池パック、乾電池パック)：7台、通信ユニット：5台、5連バッテリーチャージャー：1台	○						
3	各館に通信ユニットを設置、設定し、蔵書点検時のデータ読み込み、データ転送が行えること	○						
バーコードリーダー (CCD方式)	1	提案する図書館システムで利用可能なCCD方式のバーコードリーダーを導入すること	○					
2	導入するバーコードリーダー台数は次のとおり 中央館：14台、新南陽館：7台、福川館：1台、熊毛館：3台、鹿野館：3台、徳山駅前館：8台、予備：5台 合計：41台	○						
自立型バーコードリーダー (レーザー式)	1	提案する図書館システムで利用可能なレーザー方式の自立型バーコードリーダーを導入すること バーコードリーダーは自動貸出機に設置、設定すること	○					
2	導入するバーコードリーダー台数は次のとおり 徳山駅前館：4台 (予備：1台)	○						
カードリーダー	民間事業者が発行した独自カードの読み込み用カードリーダー	1	提案する図書館システムで利用可能な民間事業者が発行した独自のカード (各社クレジットカード、ICカードを含む) を読み込み、カード管理者との認証が可能なカードリーダーを導入すること	○				
2	導入するカードリーダー台数は次のとおり 中央館：11台、新南陽館：4台、福川館：1台、熊毛館：2台、鹿野館：2台、徳山駅前館：7台、予備：2台 合計：29台	○						
IC機器	A4対応カウンター用ICリーダー・ライター	1	提案する図書館システムで利用可能なかつ既存ICタグが読み取り可能なA4版ICアンテナ (リーダー・ライター) を導入すること 業務端末に設置、設定すること	○				
2	導入するカードリーダー台数は次のとおり 徳山駅前館：7台	○						
3	導入するIC機器は5年間のセンドバック保守サービスが受けられること	○						
A3対応自動貸出機用高精度ICリーダー・ライター	1	提案する図書館システムで利用可能なかつ既存ICタグが読み取り可能なA3版ICアンテナ (リーダー・ライター) を導入すること 自動貸出機で使用するため、高出力、高精度の機器を選定し、設置、設定すること	○					
2	導入するカードリーダー台数は次のとおり 徳山駅前館：3台	○						
3	導入するIC機器は5年間のセンドバック保守サービスが受けられること	○						
蔵書点検用無線一体型ハンディタイプICリーダー・アンテナ	1	提案する図書館システムで利用可能なかつ既存ICタグが読み取り可能な無線一体型ハンディタイプICリーダー・アンテナを導入、設定すること 無線一体型形状とし、範囲内を読み取り可能なこと	○					

優先順位：必須○ 希望△

対応区分：可能○ 一部△ 不可×

5. システム機能要件（ハードウェア）

大分類	小分類	処理機能	項目 番号	要求機能	優先 順位	対応 区分	対応△×の場合は代替案記入
			2	導入するカードリーダー台数は次のとおり 徳山駅前館：4台	○		
			3	導入するIC機器は5年間のセンドバック保守サービスが受けられること	○		
	イメージ取得NAS	NAS	1	端末導入時にバックアップイメージを取得、障害時に速やかに復元できるようにしておくこと	○		

6. システム機能要件 (ソフトウェア)

<周南市立図書館システム更新業務仕様書 別紙 1>

優先順位：必須○ 希望△

対応区分：可能○ 一部△ 不可×

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入		
ソフトウェア	ライセンス、SA更新、保守更新	図書館システム	1	提案する図書館システムが稼働するための各ライセンスを必要数準備すること	○				
			2	提案する図書館システムに必須に必要な機能がない場合、必須でカスタマイズして対応すること	○				
		サーバーOS	1	提案する図書館システムが稼働するサーバー機に必要なOSライセンスを漏れなく導入すること マイクロソフト製OSを利用する場合、ライセンスポリシーに留意すること	○				
			2	ADサーバーを構築する際のサーバーOSライセンスはクライアントライセンスも含め必要数準備すること マイクロソフトのライセンスポリシーに留意すること	○				
			3	ホストサーバーを構築でマイクロソフトOSを利用する場合はライセンスを必要数準備すること マイクロソフトのライセンスポリシーに留意すること	○				
		クライアントOS	1	クライアントOSをデプロイする場合、必要なOSライセンスを準備すること マイクロソフトのライセンスポリシーに留意すること	○				
		Office	1	永続版Officeライセンスを必要数準備すること Office Standard：35ライセンス Office Professional Plus：1ライセンス	○				
		民間事業者が発行した独自のカードポイントデータ交換	1	民間事業者が発行した独自のカードポイント連携するためのデータ交換ソフトウェアのライセンスを必要数準備すること ライセンスは5年間のソフトウェア保守更新費用を含めること	○				
		ウイルス対策ソフトウェア	1	稼働するサーバーOSライセンス分のウイルス対策ソフトウェアのライセンスを必要数準備すること ライセンスには5年間の保守更新費用を含めること	○				
			2	稼働するクライアントOSライセンス分のウイルス対策ソフトウェアのライセンスを必要数準備すること ライセンスには5年間の保守更新費用を含めること	○				
		バックアップソフトウェア	1	稼働するサーバーOSライセンス分のイメージバックアップソフトウェアのライセンスを必要数準備すること ライセンスには5年間の保守更新費用を含めること	○				
			2	設定後のイメージバックアップを取得するためのソフトウェアのライセンスを必要数準備すること ライセンスには5年間の保守更新費用を含めること ICゲート管理端末はデータを保管する観点から日々バックアップ取得をしておくこと 尚、デプロイする場合はそのライセンスを含めること	○				
		利用者インターネット端末用フィルタリングソフトウェア	1	利用者インターネット端末は不特定多数が利用することから、Webフィルタリングソフトを導入し管理すること 管理はクラウドコンソールで一括管理できること ソフトウェアのライセンスは必要数準備すること ライセンスには5年間の保守更新費用を含めること	○				
		端末制御用ソフトウェア	1	利用者インターネット端末、館内OPAC端末（iPadを除く）は不特定多数が利用することから、端末制御ソフトウェアを導入し、不正操作ができないようにすること ソフトウェアのライセンスは必要数準備すること 必要であればライセンスに5年間の保守更新費用を含めること	○				
		環境復元ソフトウェア	1	利用者インターネット端末は不特定多数が利用することから、再起動をすることで設定した環境を瞬時に復元するためのソフトウェアを導入し、ウイルス感染、設定変更のリスクを予防すること ソフトウェアのライセンスは必要数準備すること 必要であればライセンスに5年間の保守更新費用を含めること	○				
		SSL証明書		SSL証明書	1	WebOPACは利用者情報入力を伴うことから、セキュアに公開する必要がある WebサーバーにSSL証明書を適用し公開すること SSL証明書は5年間分の費用及び更新作業を含めること	○		

7. システム機能要件 (接続回線)

大分類	小分類	処理機能	項目番号	要求機能	優先	対応区分	対応△×の場合は代替案記入
接続回線	インターネット接続回線	回線契約	1	インターネットへ接続する回線は新規でフレッツ光ネクスト・スーパーハイスピード集回線を周南市役所サーバー室に敷設する IPv6オプションは事前契約とする 契約及びランニング費用については周南市が負担する 回線敷設に伴う調整事項、現地調査及び回線敷設の立ち合いは提案者が行うものとし本業務に含めること	○		
			2		○		
		プロバイダー契約	1	Webサーバーを公開するための固定IPを含めたプロバイダー契約の費用は周南市が負担する その際、ドメインは既存のものを流用するため、ドメイン名の移管手続き等の支援は本業務に含めること 但し、ドメインが利用できない期間を極力短くすること またDNSの不一致を防止するため、正引き及び逆引きのDNSレコードで追加契約が必要な場合は、その費用について提案すること	○		
			2	SPFLレコード、MXレコード、PTRレコード等、必要なDNSレコードを漏れなく設定すること	○		
	VPN接続回線	回線契約（鹿野館以外）	1	VPN接続する回線は新規でフレッツ光ネクスト・スーパーハイスピード集回線を周南市役所サーバー室、新南陽館、福川館、熊毛館、鹿野館、徳山駅前館に敷設する 中央館は既存のフレッツ光ネクスト・スーパーハイスピード集回線を利用する IPv6オプションは事前契約とする 契約及びランニング費用については周南市が負担する 尚、中央館は現行回線を利用することから現行業務に影響がある場合は、新規で回線敷設する提案とすること	○		
			2	回線敷設に伴う調整事項、現地調査及び回線敷設の立ち合いは提案者が行うものとし本業務に含めること	○		
		プロバイダー契約（鹿野館以外）	1	拠点間VPN通信はIPv6の利用を想定している VPN接続に伴う費用が必要な場合はIPv6通信可能なプロバイダーもしくはキャリアを選定し提案すること 契約費用、ランニング費用については周南市が負担する	○		
			1	VPN接続する回線は新規でシティーケーブル周南（CCS）と1Gbps光回線を契約、敷設する 契約及びランニング費用については周南市が負担する	○		
		回線契約（鹿野館）	1	VPN接続する回線は新規でシティーケーブル周南（CCS）と1Gbps光回線を契約、敷設する 契約及びランニング費用については周南市が負担する	○		
			2	回線敷設に伴う現地調査及び回線敷設の立ち合いは提案者が行うものとし本業務に含めること	○		
民間事業者が発行した独自のカードポイント認証回線	回線契約	1	民間事業者が契約しているNTTコミュニケーションズが提供する専用回線Arcstar（2回線）を中央館から周南市役所サーバー室へ移設する必要がある 移設に係る費用を、本業務に含めること ランニング費用等については周南市及び民間事業者が負担のため考慮しなくてよい	○			
		2	回線敷設に伴う調整事項、現地調査及び回線敷設の立ち合いは提案者が行うものとし本業務に含めること	○			

機器構成及び台数

No	製品名称	総数	設置場所								備考
			周南市役所	中央図書館	新南陽図書館	福川図書館	熊毛図書館	鹿野図書館	徳山駅前図書館	中央移動図書館	
1. サーバー											
1	ホストサーバー	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	
2. バックアップ用NAS											
1	バックアップNAS	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	
2	ICゲート管理端末用	1式	-	-	-	-	-	-	1式	-	
3	端末初期イメージ取得用NAS	1式	-	1式	-	-	-	-	-	-	
3. 無停電電源装置											
1	無停電電源装置 (UPS)	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	
4. 19インチラック関連											
1	KVMコンソール及びKVMスイッチ	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	
2	19インチラック	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	
5. センター側通信機器											
1	Firewall (UTM機能)	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	参考数量：1台
2	外部接続用ルーター及びVPN用ルーター	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	参考数量：2台
3	冗長スイッチ (スタック機能搭載)	1式	1式	-	-	-	-	-	-	-	参考数量：2台
4	民間事業者発行カードポイント用L2スイッチ	1台	1台	-	-	-	-	-	-	-	参考数量：1台
6. 中央図書館側 通信機器											
1	VPNルーター	1台	-	1台	-	-	-	-	-	-	参考数量：1台
2	L2スイッチ	1台	-	1台	-	-	-	-	-	-	参考数量：1台 (24ポート)
7. 各分館側 通信機器											
1	VPNルーター	5台	-	-	1台	1台	1台	1台	1台	-	参考数量：5台
2	L2スイッチ	26台	2台	8台	3台	1台	3台	3台	6台	-	参考数量：26台
8. 徳山駅前図書館側 通信機器											
1	1階 バックヤードEPS スイッチ	1台	-	-	-	-	-	-	1台	-	※光ケーブル (1000Base-SX,MM LC) : 4ポート必須
2	1階 中央PS スイッチ	1台	-	-	-	-	-	-	1台	-	※光ケーブル (1000Base-SX,MM LC) : 1ポート必須
3	2階 中央PS スイッチ	1台	-	-	-	-	-	-	1台	-	※光ケーブル (1000Base-SX,MM LC) : 1ポート必須
4	2階 キッズルームPS スイッチ	1台	-	-	-	-	-	-	1台	-	※光ケーブル (1000Base-SX,MM LC) : 1ポート必須
5	3階 中央PS スイッチ	1台	-	-	-	-	-	-	1台	-	※光ケーブル (1000Base-SX,MM LC) : 1ポート必須
9. デスクトップ端末											
1	業務用端末 + ディスプレイ	23台	-	10台	4台	1台	2台	2台	4台	-	
2	館内OPAC端末 + タッチモニター	14台	-	6台	3台	1台	2台	2台	-	-	
3	利用者インターネット端末 + ディスプレイ	10台	-	3台	2台	-	4台	1台	-	-	
4	ICゲート管理端末ホスト端末	1式	-	-	-	-	-	-	1式	-	
5	自動貸出機端末 + タッチモニター	3台	-	-	-	-	-	-	3台	-	
10. ノート端末											
1	業務用/移動用ノート端末	13台	-	3台	3台	-	1台	1台	4台	1台	
11. タブレット											
1	館内OPACタブレット	7台	-	-	-	-	-	-	7台	-	
2	館内貸出タブレット	5台	-	-	-	-	-	-	5台	-	
13. プリンター											
1	A3モノクロプリンター + トレイモジュール	2台	-	1台	1台	-	-	-	-	-	
2	A4モノクロプリンター	11台	-	4台	2台	1台	2台	2台	-	-	
3	A3カラープリンター + トレイモジュール + キャビネット	1台	-	-	-	-	-	-	1台	-	
4	水平型ドットインパクトプリンター + シートフィーダ + Ethernet	1台	-	1台	-	-	-	-	-	-	※トラクタフィーダを含む
5	レシートプリンター (USB接続)	39台	-	14台	7台	1台	3台	3台	11台	-	
6	レシートプリンター (iPad用Wi-Fi接続)	8台	-	-	-	-	-	-	7台	-	1台
7	A3対応カラスキャナー	1台	-	1台	-	-	-	-	-	-	
14. キーエンスハンディターミナル											
1	ハンディターミナル + 大容量充電電池/バック + 乾電池/バック	7台	-	7台	-	-	-	-	-	-	※中央図書館：3台(キーエンス製BT-600を別途購入で保有)
2	通信アダプタ	5台	-	1台	1台	1台	1台	1台	-	-	※中央図書館：1台(キーエンス製BT-600用を別途購入で保有)
3	5連充電ユニット	1台	-	1台	-	-	-	-	-	-	
15. バーコードリーダー											
1	CCD方式バーコードスキャナ	41台	-	14台	7台	1台	3台	3台	8台	-	5台
2	レーザー方式バーコードスキャナ + 自立スタンド	4台	-	-	-	-	-	-	3台	-	1台
16. カードリーダー											
1	民間事業者発行カードポイント認証用カードリーダー	29台	-	11台	4台	1台	2台	2台	7台	-	2台
17. ICアンテナ											
1	ICアンテナA4版	7台	-	-	-	-	-	-	7台	-	-
2	自動貸出機用ICアンテナ (高精度/高出力A3番)	3台	-	-	-	-	-	-	3台	-	-
3	無線一体型ハンディICアンテナ	4台	-	-	-	-	-	-	4台	-	-